



Simply Better Connections

PG8308B / PG8308G

8アウトレット1U ecoPDU ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATEN ジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠したデジタル装置Class Aの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。本装置は電波エネルギーを発生、使用、放射し、ユーザーマニュアルに従って設置、使用しない場合は無線装置に干渉する可能性もあります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意事項

本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。



注意 1:「高接触電流」に注意してください。

注意 2:電源に接続する前にアースに接続してください。

カナダ産業省による宣言

Class Aの本デジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-003 (A) / NMB-003 (A)

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

PEデバイスの安全に関する注意事項



- ◆ 銘板に記載された定格電流が建物内の電気回路の最大許容電流を超えないようにしてください。ブレーカーについては、国内におけるすべての規制および安全規定を確認すると同時に、逸脱事項についても確認を行ってください。
- ◆ PEデバイスは、アース接続された電源アウトレットまたはシステムにのみ接続してください。
- ◆ 接続されたシステムの電流入力の合計が、PEデバイスの銘板に記載された定格電流を超えないようにしてください。

ユーザー情報

オンライン登録

弊社のオンラインサポートセンターに必ずお客様の製品を登録してください。

インターナショナル

<http://eservice.aten.com>

電話サポート

電話によるサポートは、この番号に電話してください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

ユーザー通知

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者(メーカー、代理店、または販売店を除く)が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造業者は、この装置に対する許可されていない変更によって引き起こされる無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉を訂正することは、ユーザーの責任です。

製造業者は、動作前に正しい動作電圧設定が選択されていない場合には、このシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

本書に記載されている指示に従って本製品を設置しなかった場合、または本製品の設計仕様を超える電流負荷がかかる環境で使用された場合、本製品の操作に関して人身傷害または物的損害が発生した場合、ATENはいかなる損害に対しても責任を負いません。

製品情報

すべてのATEN製品について、また、制限なく接続できる方法については、ウェブ上のATENにアクセスするか、またはATEN認定再販業者に連絡してください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトアクセスして、ご確認ください。

インターナショナル	http://www.aten.com
北米	http://www.aten-usa.com

同梱品

すべてのアイテムが正常に動作していることを確認してください。問題が発生した場合は、販売店にお問い合わせください。

PGシリーズのeco PDUの標準パッケージは、以下のアイテムで構成されています。

- PDU本体 × 1
- ラックマウントキット × 1
- フットパッドセット(4個) × 1
- RJ-45→DB-9ケーブル × 1
- フルパネルカラーステッカー × 1
- クイックスタートガイド × 1

目次

適合性に関する宣言.....	i
ユーザー情報.....	iii
オンライン登録.....	iii
電話サポート.....	iii
ユーザー通知.....	iv
製品情報.....	v
同梱品.....	v
目次.....	vi
本書について.....	xi
マニュアル表記について.....	xii
第1章 はじめに.....	1
概要.....	1
特長.....	3
接続.....	3
計測.....	3
ネットワーク.....	4
アウトレットの切り替え制御.....	4
POP機能.....	5
要件.....	6
ケーブルホルダー.....	7
製品各部名称.....	8
フロント.....	8
リア.....	10
第2章 ハードウェアのセットアップ.....	11
始める前に.....	11
ラックマウント.....	11
セットアップ.....	13
ケーブルの固定.....	15
RS-232コマンドリスト.....	16

カスケード&ブリッジ.....	17
カスケード.....	17
ブリッジ.....	17
ブリッジとカスケードでeco PDUを連結するには.....	19
第3章 基本操作と初回設定.....	20
操作方法.....	20
ブラウザ.....	20
eco DC.....	20
SNMP.....	20
初回設定.....	21
ネットワーク設定.....	22
管理者ログインの変更.....	23
次の操作.....	24
第4章 ログイン.....	25
ログイン.....	25
eco PDUのメインページ.....	26
ページの構成要素.....	27
第5章 エネルギー.....	28
接続.....	28
PDUの状態.....	29
環境センサーの状態.....	29
バンクの状態.....	30
アウトレットの状態.....	31
設定.....	32
POP設定.....	32
電源投入時のスケジュール設定.....	33
バンク設定.....	33
バンクPOP優先リスト.....	33
アウトレット設定.....	33
センサー設定.....	37
第6章 ユーザー管理.....	40
概要.....	40

管理者情報.....	41
ユーザー情報.....	42
第7章 ログ.....	44
概要.....	44
システムログイベントリスト.....	45
通知設定.....	46
第8章 セットアップ.....	48
デバイス管理.....	48
デバイス設定.....	49
全般.....	49
サービスポート.....	49
シリアル設定.....	50
IPv4設定.....	51
IPv6設定.....	52
イベント通知.....	53
日付/時刻.....	56
セキュリティ.....	59
ログイン失敗.....	59
動作モード.....	60
TLSサポート.....	60
IPインストーラーの設定.....	61
セッションタイムアウト.....	61
アカウントポリシー.....	62
IPフィルター/MACフィルター.....	63
認証および操作権限.....	66
プライベート証明書.....	70
ワイヤレスネットワーク.....	72
IPv4設定.....	73
IPv6設定.....	74
カスケード.....	76
PDUの追加.....	76
PDUの削除.....	77
PDUの接続.....	77
検出.....	77
ルール.....	78

新規ルールを追加.....	78
ルールの編集.....	79
スケジューラー.....	80
イベントの作成.....	80
Pythonスクリプト.....	83
新規スクリプトの追加.....	83
スクリプト管理.....	84
ATEN Pythonライブラリ.....	85
第9章 PDU.....	88
概要.....	88
メインファームウェアのアップグレード.....	89
ファームウェアのアップグレード.....	90
ファームウェアアップグレードのリカバリー.....	90
バックアップ/リストア.....	91
ステーションリスト.....	91
バックアップ.....	91
リストア.....	92
第10章 LCDメニュー.....	94
eco PDUの表示セクション.....	94
ホーム画面.....	95
アラート.....	95
測定.....	97
センサー.....	98
ドライコンタクト.....	98
ON/OFFの切り替え.....	99
デバイス.....	99
バンク.....	100
アウトレット.....	100
ネットワーク.....	101
カスケード.....	102
設定.....	103
ログ.....	104

PDU.....	105
第11章 Telnetコマンド.....	106
リモートターミナル操作.....	106
Telnet.....	106
セッションタイムアウト.....	108
コマンド.....	109
確認.....	109
電源アウトレットの状態の読み取り.....	110
アウトレットの状態の切り替え.....	111
環境値の読み取り.....	113
Telnetセッションの終了.....	114
PDUデバイスの再起動.....	115
付録.....	116
安全にお使いいただくために.....	116
全般.....	116
ラックマウント.....	119
eco PDUの主電源コード.....	119
電源ケーブルの固定.....	120
サーキットブレーカーのリセット.....	121
復旧手順:.....	121
技術サポート.....	122
インターナショナル.....	122
北米.....	122
IPアドレスの設定.....	123
方法1.....	123
方法2.....	124
方法3.....	125
仕様.....	126
PG8308B / PG8308G.....	126
ATEN保証ポリシー.....	127

本書について

このマニュアルは、eco PDUを最大限に活用するために提供されています。本書はeco PDUの取り付け・セットアップ方法、操作方法に関するすべての情報を提供しています。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに:ecoPDUについて紹介します。目的、特長、メリットを紹介し、フロントパネルとリアパネルの構成要素について説明しています。

第2章 ハードウェアのセットアップ:セットアップ方法について順を追って説明します。また、基本的な操作方法についても言及します。

第3章 基本操作と初回セットアップ:管理者がeco PDUのネットワーク環境をセットアップし、デフォルトのユーザーネームとパスワードを変更する手順について説明します。

第4章 ブラウザ操作:インターネットブラウザでeco PDUにログインする方法、およびeco PDUのユーザーインターフェースのレイアウトと構成要素について説明します。

第5章 エネルギー:eco PDUのエネルギー設定を監視・構成する方法について説明します。

第6章 ユーザー管理:eco PDUのユーザー管理(ユーザーネームやパスワード)を設定する方法について説明します。

第7章 ログ:eco PDUからログを読み取り、エクスポートする方法について説明します。

第8章 セットアップ:eco PDU全体を構成・管理する方法について説明します。

第9章 PDU:eco PDUのファームウェアをアップグレードする方法、またはファイルをバックアップおよび復元する方法について説明します。

第10章 LCDメニュー:eco PDUのLCD画面の機能について説明します。

第11章 Telnetコマンド:Telnetを使用してeco PDUに接続し、アクセスする方法について説明します。


付録:技術情報およびトラブルシューティングについて説明しています。

注意:

- 本書をよくお読みになり、本機や接続機器の破損を防ぐために、セットアップや操作の手順に従ってください。
 - 本書の公開後に、製品の機能や特長が、追加・改良・削除される場合があります。最新の取扱説明書については、<http://www.aten.com/global/en/>をご覧ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- [] 押すべきキーを示します。入力するキーを示します。例えば [Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記しています。
 - 1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。
 - ◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。
 - > (メニューやダイアログボックスなどで)連続したオプションを選択します。矢印は操作の手順を示します。例えば、「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択する操作です。
-  重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

ATENのPGシリーズPDUには、アウトレットの計測・電源管理機能を搭載したPG8308BおよびPG8308Gがラインナップされています。PG8308シリーズのPDUは、6つのIEC60320 C13と2つのIEC60320 C19で構成し、1Uサイズでラックマウントできるようにした製品です。ARM Cortex-A8プロセッサを搭載したこれらのPDUは、USB、COM、環境センサー、デュアルギガビットLANポートを通じて高度な制御オプションを提供します。

高速起動を目指して設計されたPDU PG8308は、1次側の給電が開始されたら接続機器への給電を10秒以内に開始します。コスト効率とスペースの最適化を向上できるように、これらのインテリジェントPDUはLANカスケード接続が可能で、最大64台のユニットを接続できます。

PG8308シリーズのPDUは、センサーユニットEA1640と接続できる専用RJ-45ポートを備えています。またPDU本体機能として、インテリジェントな電源管理機能を提供し、ユーザーがサーバー、ストレージシステム、KVMスイッチ、ネットワークデバイス、シリアルデータデバイスなどのデータセンターIT機器の電源オン・オフ、または電源切断後の再投入が可能です。

リモート電源制御とリアルタイム電力測定の統合により、ユーザーは場所を問わず、IP接続経由で電源状態を管理・監視できます。この機能は、特定のモデルに応じて、PDUデバイス、バンク、またはアウトレットレベルでアクセス可能です。

これらのインテリジェントPDUは、モデルによって100Vから240Vの高電圧範囲を処理することができます。さらに、±1%の精度で正確なkWhエネルギー使用データを計測します。この精度のレベルは、電力消費の監視を強化し、エネルギー効率化の取り組みをサポートします。

ハードウェア設計の点に関して、PG8308シリーズのPDUは、省エネ型リレーを内蔵しており、より効率的にエネルギー消費を抑えることができます。PG8308BおよびPG8308Gモデルに搭載されているサーキットブレーカーは、定格30Aまたは32Aの電流をサポートし、過負荷時には電力供給を自動的にオフにします。

PG8308シリーズのファームウェアは、ウェブGUIまたはUSB経由でアップグレード可能です。ユーザーはATENのウェブサイトからアップデートを簡単にダウンロードでき、最新機能をすぐにお使いいただけます。

ユーザーには緑色のLCDコンソールパネルステッカーが付属しており、将来販売予定の追加オプションとして青、黄、赤、紫色のステッカーがあります。この色分けシステムは、給電設定の区別を強化し、より効率的なトラブルシューティングを促進します。

PGシリーズのインテリジェントPDUは、企業のサーバールーム、ネットワーククローゼット、データセンターに最適であり、高密度ITアプリケーションの要求を満たしながら、全体的なコストを最適化するインテリジェントな配電および管理ソリューションを提供します。

特長

接続

- 1Gbpsイーサネットインターフェースをサポート
- リモート管理プロトコル-TCP/IP、UDP、HTTP、HTTPS、SSL、DHCP、SMTP (TLS 1.2)、ARP、NTP、DNS、Auto Sense、Ping、SNMP V1、V2、およびV3、Telnet、Modbus (TCP/IP経由)、Wi-Fi、およびIPv6
- スクリプト - JSON-RPCプロトコルとPythonスクリプトを使用して、指定されたPDUユニットを制御
- セキュリティ - 2レベルのアカウント/パスワードによるログインアクセス、IP/MACフィルター、128ビットSSL
- 認証 - RADIUS、LDAP、TACACS
- ecoDCおよび複数のブラウザ (IE、Firefox、Chrome、Safari) をサポート
- RS-232およびRS-485通信ポートをサポート
- 自動Ping監視&アウトレット再起動機能
- 環境センサーポートは専用RJ-45ポートで、ATEN EA1640などの環境センサーを最大8つまでデジチェーン接続に対応しています。温度、湿度、気流、差圧、漏れの監視と管理を行い、設定した閾値に達するとアラート発報ができます (センサー別売)
- 回転可能なLCDスクリーン - 180度の回転が可能で、ラック内での柔軟な設置を実現

計測

- ケーブルホルダー機構により、振動や人為的エラーによるアウトレット側の電源コードの脱落を抑止
- PDUおよびアウトレットレベルでの電力の計測と監視
- 電流、電圧、電力、電力損失、温度、湿度のしきい値レベルの測定と設定
- 正確なkWh計測 (+/-1%) により、電力消費傾向、基準、およびイニシアティブ

の追跡を改善

- ・ リアルタイムのLCDアラートにより、異常な電源状態をユーザーに警告

ネットワーク

- ・ デュアルイーサネットポートは最大64台のPDUのカスケード接続をサポート
- ・ デイジーチェーン機能はSNMP & ModbusプロトコルおよびTCP/IPプロトコル(ウェブページ)をサポート
- ・ PONポートはKNシリーズ(最大16台のKNデバイス)に接続可能で、セカンダリーとして機能

注意: これらのネットワーク機能は将来のファームウェアリリースにて対応する予定です。

- ・ ATEN eco DC(エネルギー & DCIM管理ウェブGUI)をサポートし、PDUおよび接続されたデバイスからの配電、エネルギー、環境データを監視

アウトレットの切り替え制御

- ・ 個別のアウトレットおよびアウトレットグループによるリモート電源アウトレット制御(オン/オフ、電源切断後再投入)
- ・ PDUレベルでのアウトレットグループをサポート
- ・ 複数の電源制御方法をサポート - Wake on LAN、System After AC Back、Kill the Power
- ・ 電源オン/オフのシーケンス - 各アウトレットの電源オンの順番と遅延時間を設定することで、正しい順序での電源投入が可能
- ・ プロアクティブ過負荷保護(POP) - 現在の過負荷の原因となっている最後のアウトレットの電源を自動でオフに変更。ユーザーはシャットダウンの優先順位を設定可能
- ・ 曜日スケジュール制御
- ・ 温度または湿度センサーの値が事前に設定されたしきい値に達した場合、PDUは特定のアウトレットをオン、オフ、または再起動可能

- エネルギー効率の高いリレーにより、効率的な電力管理および消費電力の削減をサポート

POP機能

PG8シリーズのモデルは、ATENの独自のプロアクティブ過負荷保護 (POP) 技術を搭載しています。電流過負荷が発生したときにアウトレットを任意の順番や最後に接続した機器から自動的に電源オフするような使い方ができます。

要件

- eco PDUへのアクセスには、TLS 1.2に対応したブラウザをお使いください。
- 接続されたコンピューターのコールドブートを行うには、コンピューターのBIOSがWake on LANまたはSystem after AC Backをサポートしている必要があります。
- セーフシャットダウンを行うには：
 - アウトレット側に接続したコンピューターはWindows (2000以上)またはLinuxを実行している必要があります。
 - セーフシャットダウンプログラム (PMonitor)をコンピューターにインストールして、実行しておいてください(当社のウェブサイトからダウンロード可能です)。

注意:

セーフシャットダウンプログラムPMonitorは、以下に示すように製品ウェブページの「サポート&ダウンロード」セクションからダウンロード可能です。

Software & Drivers ▾

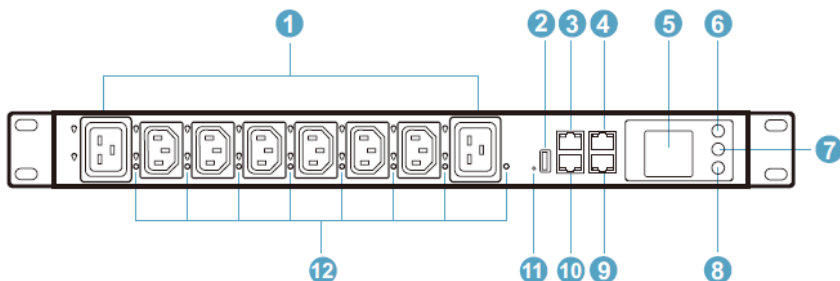
OS	Description	Ver.	Release Date	File Name
Other				
	MIB File	v1.1.115	2015-05-05	PE_MIB_File_v1.1.115.zip
	PE MIB File	v1.1.112	2014-06-19	PE8_MIB_File_v1.1.112.tar
	PE MIB File	v1.1.109	2013-09-06	PE8_MIB_File_v1.1.109.tar
	IP Installer	v1.4.132	2012-02-10	IPInstaller-ALTUSEN_v1.4.132.zip
Linux	PMonitor	v1.1	2012-02-10	PowerMonitor_v1.1.zip
Windows	PMonitor	v1.0.081	2012-02-10	PMonitorSrv_v1.0.081.zip
	PE MIB File	v1.0.063	2012-02-10	PE8_MIB_File_v1.0.063.zip

ケーブルホルダー

ケーブルホルダーはオプションアクセサリです。安全性を高めるために、eco PDUに接続されたデバイスのケーブルをATEN Lok-U-Plugケーブルホルダーでeco PDUに固定してください。固定に使用できるのは、eco PDUと併用するように特別に設計されたATEN Lok-U-Plugケーブルホルダーのみです。他の種類のケーブル固定装置を使用すると、デバイスやユーザーに対して不可逆的な損傷や危害をもたらす可能性があります。互換性のあるケーブルホルダーの一覧については、製品ウェブページの互換製品セクションを参照してください。

製品各部名称

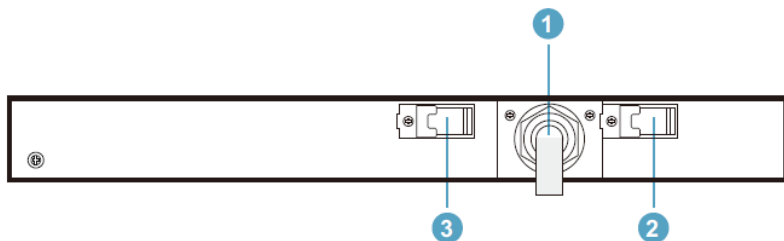
フロント



番号	項目	説明
1	電源アウトレット	合計8カ所あります。 IEC320 C13×6 IEC320 C19×2 注意: ATEN Lok-U-Plugケーブルホルダー用の穴は、アウトレットの周囲にあります。詳細については、p.15「ケーブルの固定」を参照してください
2	USB Type-Aポート	ファームウェアのアップグレードまたはログのエクスポートの目的でUSB Type-Aストレージデバイスに接続します。 <ul style="list-style-type: none">USBファームウェアアップグレード: eco PDUはUSBポート経由でファームウェアアップグレードを迅速に実行できます。USB設定 & ログファイルの復元: 設定とログファイルはUSB経由でエクスポートできます。
3	COM + PONポート	<ul style="list-style-type: none">COM: リモート制御の目的でハードウェアまたはソフトウェアコントローラーに接続します。PON: 最大16台のPG PDUをカスケード接続するためにKNシリーズに接続します。
4	LAN 1	ユニットをインターネット、LAN、または最大64台のPG PDUにカスケード接続するケーブルを接続します。

番号	項目	説明
5	LCDパネル	PDU / バンク / アウトレットを選択すると、その電流、電圧、電力、IPアドレスの読み取り値がディスプレイウィンドウに表示されます。
6	メニュー / 戻るボタン	ボタンを押すと、LCDディスプレイの前の画面に戻ります。また、ボタンを2秒間押し続けると、メインメニューに戻ります。
7	選択ボタン	ボタンを押すと、項目を循環して選択します。LCDディスプレイでは現在表示中のものを示しています。
8	ENTERボタン	ボタンを押すと、選択した項目のページに入り、LCDディスプレイに表示される詳細情報を確認できます。
9	LAN 2	ユニットをインターネット、LAN、WAN、または最大64台のPG PDUにカスケード接続するケーブルを接続します。
10	センサーポート	RJ-45ポートを湿度および温度センサー(例:EA1640)に接続します。
11	リセットボタン	このボタンは凹んでおり、ペーパークリップの端などの細い物で押す必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 押してすぐに離すと、デバイスを再起動します。 ◆ 3秒以上押し続けると、eco PDUを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。
12	アウトレットステータス LED	これらのLEDはアウトレットのステータスを示します。 電源オンの場合は緑色に点灯します。 電源オフの場合は消灯します。

リア



番号	項目	説明
1	電源コード	ユニットをAC電源に接続します。
2	サーキットブレーカー (アウトレット1~4用)	安全対策として、デバイスの電力に関して過電流の状況が発生した場合、サーキットブレーカーが作動します。ボタンを押すと通常の動作に回復します。
3	サーキットブレーカー (アウトレット5~8用)	警告: 作動したサーキットブレーカーのリセットに関する重要な情報については、p.121「サーキットブレーカーのリセット」を参照してください。

第2章 ハードウェアのセットアップ

始める前に

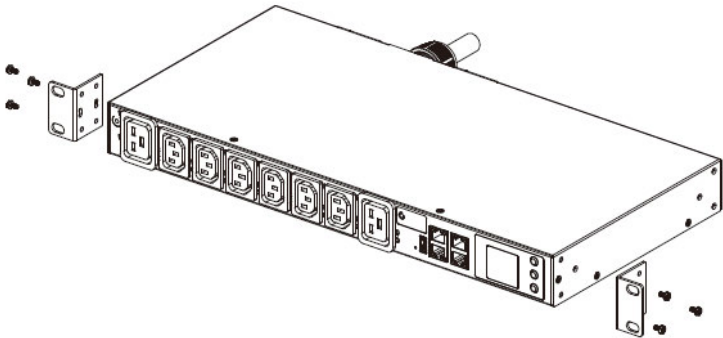


1. このデバイスのセットアップに関する重要な安全情報は、p.116に記載されています。作業を進める前に必ず確認してください。
2. 接続するすべてのデバイスの電源がオフになっているか確認してください。キーボード起動機能を持つコンピューターの場合は、PCの電源コードを抜いて起動しないよう処置をしてください。
3. 作動したサーキットブレーカーのリセットに関する重要な情報については、p.121「サーキットブレーカーのリセット」を参照してください。

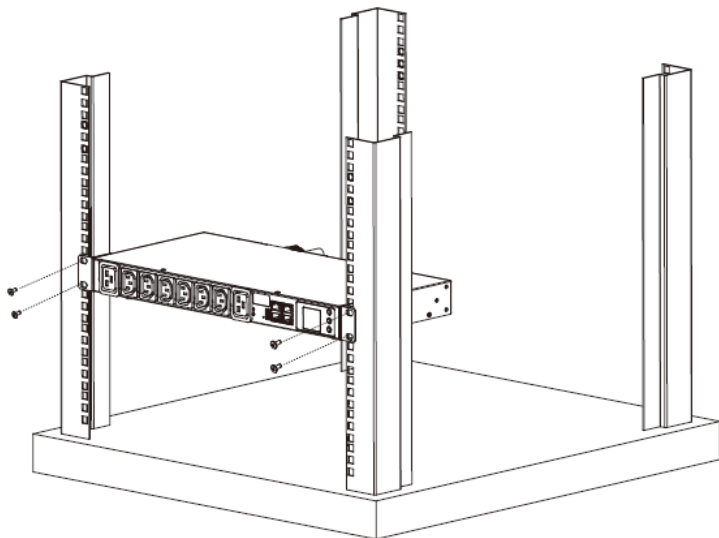
ラックマウント

ユニットを19インチ(1U)システムラックに取り付けるには：

1. 2つのマウントブラケットを付属のネジでユニットの側面に取り付けます。



2. マウントブラケットのネジ穴をラックのフロント側に合わせ、ご自身で用意したネジを使用してユニットをラックに固定します。

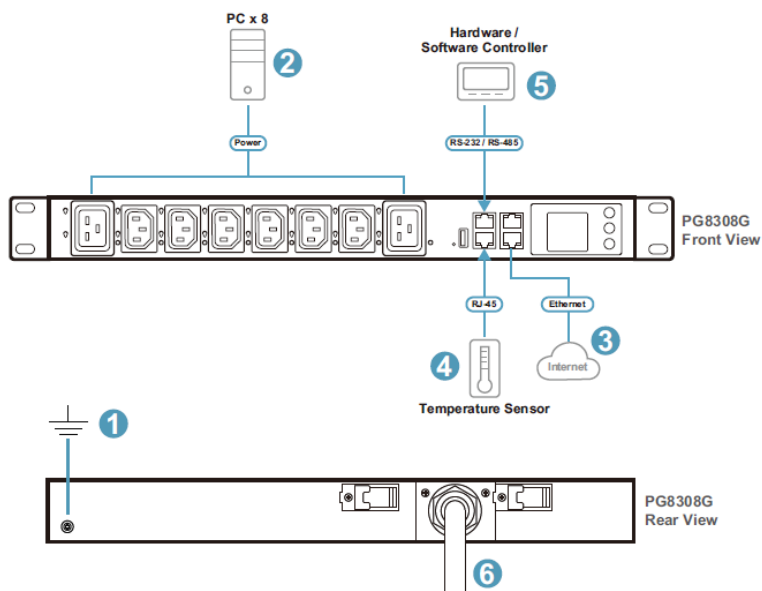


注意:

上記の図で使用されているeco PDUは参照用であり、PGシリーズとは異なる場合があります。

セットアップ

セットアップは、以下の接続図(図中の番号は番号付きの手順に対応)を参照し、次の作業を行ってください。



1. ユニットが適切にアースへ接地されているか確認します。

注意:

この手順を省略しないでください。適切に接地することは、電圧サージや静電気によるユニットの損傷を防ぐのに一定の効果があります。

2. 接続したい各デバイスについて、その電源ケーブルを使用してデバイスのAC電源インレットをeco PDUの任意の利用可能なアウトレットに接続します。アウトレットはATEN Lok-U-Plugケーブルホルダーを使用して固定します。
3. ユニットのLAN 1またはLAN 2ポートを、イーサネットケーブルを使用してネットワークに接続します。オプションでネットワークを冗長化する場合は、2本のイーサネットケーブルを使用して両方のLANポートをネットワークに接続します。

注意:

LANポートを使用して最大64台のeco PDUをカスケード接続することも可能です。

4. (オプション)環境センサー(ATEN 温度&湿度センサー EA1640)を、ユニットのセンサーポートに接続します。
5. (オプション)RS-232/RS-485シリアルコントローラーを、ユニットのCOMポートに接続します。

注意:

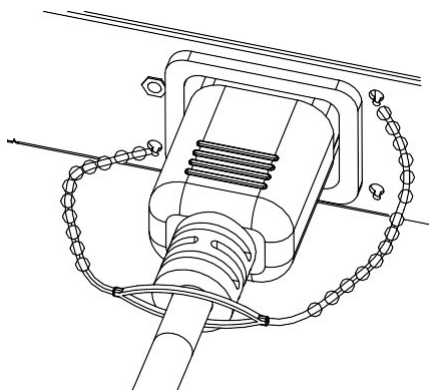
ポートをPONポートとして使用し、イーサネットケーブル経由でATEN KVM over IPスイッチに接続することも可能です。

6. ユニットの電源コードをAC電源に接続して電源を入れたら、接続されたデバイスの電源を入れます。

これらのセットアップ手順が完了したら、eco PDUと接続されたデバイスの電源を入れることができます。

ケーブルの固定

安全性を高めるために、eco PDUから給電するデバイスのケーブルは、ATEN Lok-U-Plugケーブルホルダーを使用してeco PDUに固定してください。ケーブルホルダーは、各電源アウトレットの周囲に特別に設計された穴を使用して固定します(下図参照)。



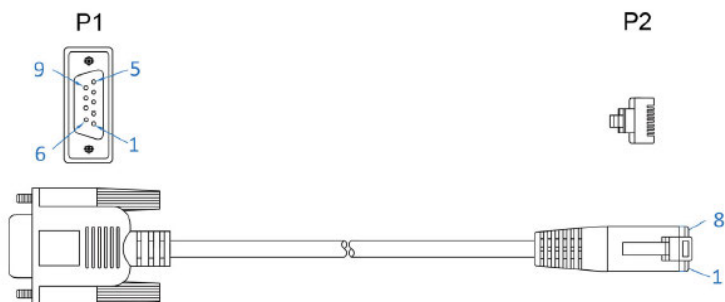
注意:

1. ケーブルホルダーはオプションアクセサリです。p.7「ケーブルホルダー」を参照してください。
 2. ケーブルの固定に使用できるのは、eco PDUと併用するように特別に設計されたATEN Lok-U-Plugケーブルホルダーだけです。他の種類のケーブル固定器具を使用すると、デバイスやユーザーに対して不可逆的な損傷や危害をもたらす可能性があります。
-

RS-232配線リスト

RS-232配線については、以下の表と図を参照してください。

DB-9	CON	RS-232
3	RS-232 RX	3
5	GND	5
2	RS-232 TX RS-485 D+	6
1	RS-485 D-	8



ワイヤーテーブル		
P1	色	P2
3	黒	3
5	茶	5
2	赤	6
1	オレンジ	8

カスケード&ブリッジ

以下のセクションで説明されている手順に従って、eco PDUをカスケード/ブリッジ接続を行います。

カスケード

複数のATEN eco PDUを1つのグループとして利用するカスケード接続するには、すべてのユニットを同一ネットワークセグメントにセットアップする必要があります。カスケード接続するデバイスは異なるIPアドレスでも利用できます。

注意:

1セットのIPアドレスでデバイスをカスケード接続するには、すべてのユニットをLAN 1ポートまたはLAN 2ポート経由で接続してください。

1. サポートされているブラウザを使ってマスターユニットにログインします。
2. 「**セットアップ**」>「**カスケード**」に移動します。他のユニットを設定する方法については、p.17「カスケード」を参照してください。

ブリッジ

複数のATEN eco PDUを数珠つなぎのようにブリッジ接続する場合は、すべてのeco PDUを同じ場所に設置・接続してください。また、ユニットには同じIPアドレスを設定します。

注意:

マスターユニットとスレーブユニットへと設定したい場合は、ユニットのLCDメニューからマスターユニットのブリッジ機能を無効にし、他のすべてのスレーブユニットのブリッジ機能を有効にしてください。詳細については、p.17「ブリッジ」を参照してください。

- ルーターからDHCPでIPを取得し、イントラネットを使用してLANを共有するには、以下の手順でeco PDUを接続してください。
1. 最初の(マスター)ユニットのLAN 1ポートをルーターまたはスイッチに接続し

ます。

2. 最初のユニットのLAN 2ポートを、2番目のユニット(スレーブユニット)のLAN 1ポートに接続します。
 3. 2番目のユニットのLAN 2ポートを、次のユニット(スレーブユニット)のLAN 1ポートに接続します。
 4. 手順2および手順3と同様の手順を繰り返して、他のスレーブユニットを接続し、セットアップを完了します。
- ルーターから1セットのIPアドレスを使用するには、以下の手順でeco PDUを接続してください。
 1. 最初の(マスター)ユニットのLAN 1ポートを、ルーターまたはスイッチに接続します。
 2. 最初のユニットのLAN 1ポートをそのLAN 2ポートに接続します。
 3. 最初のユニットのLAN 2ポートを、2番目のユニット(スレーブユニット)のLAN 1ポートに接続します。
 4. 2番目のユニットのLAN 2ポートを次のユニット(スレーブユニット)のLAN 1ポートに接続します。
 5. 手順3および手順4と同様の手順を繰り返して、他のスレーブユニットを接続し、設置を完了します。

注意:

最後のスレーブユニットはスイッチなどに接続しないでください。

ブリッジとカスケードでeco PDUを連結するには

複数のeco PDUを1セットのIPアドレスで連結するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. LCDメニュー経由で、マスターユニットのブリッジ機能を無効にし、他のすべてのスレーブユニットのブリッジ機能を有効にします。
2. p.17「ブリッジ」の手順に従ってユニットを接続します。
3. サポートされているインターネットブラウザを使用してマスターユニットにログインし、「セットアップ」>「カスケード」に進み、サブLAN上のスレーブユニットをマスターユニットに追加します。詳細は、p.17「カスケード」を参照してください。

注意:

最後のスレーブユニットは、スイッチなどに接続しないでください。

第3章

基本操作と初回設定

操作方法

ATEN eco PDUは、ブラウザ、eco DC（弊社製エネルギー管理ソフトウェア）、およびSNMPの3つの方法でアクセスおよび管理できます。

注意:

以下のセクションには、ブラウザ操作に関する情報が含まれています。eco DCの操作については、eco DCユーザーマニュアルを参照してください。eco DCとユーザーマニュアルは、ATENのウェブサイトからダウンロードできます。

ブラウザ

ATEN eco PDUは、対応するブラウザを使ってアクセス・制御できます。詳細は、p.21「初回設定」および、この章の以下のセクションを参照してください。

eco DC

イーサネット通信に対応する弊社製eco PDUであれば、別売のATENソフトウェアeco DCに対応しています。eco DCは、サーバーにインストールし、サービスアプリケーションとして稼働します。複数のデバイスの一括操作や、PDUデバイスの設定や、接続機器の電力状態の監視が行える直感的でユーザーフレンドリーなグラフィカルユーザーインターフェースを提供します。ATEN eco DCは、eco DCユーザーマニュアルとともに、ATENのウェブサイトからダウンロードできます。

SNMP

ATEN eco PDUは、任意のサードパーティ製V1、V2、V3 SNMPマネージャーソフトウェアに対応しています。eco PDUデバイス用のSNMP管理情報データベース(MIB)ファイルは、ATENのウェブサイトからダウンロードできます。

初回設定

eco PDUの取り付けと配線が完了したら、管理者ログイン設定の変更やユーザーアカウントの追加を行きましょう。

最も簡単なのは、同一LAN上のPCを使用してブラウザでログインする方法です。

注意:

1. 初回ログイン時は、デフォルトのユーザー名とパスワードであるadministratorとpasswordを使用してください。セキュリティ上の理由から、ログイン後に認証情報を一意のものに変更する必要があります (p.23「管理者ログインの変更」を参照)。
2. ネットワークへのリモートログイン方法については、p.123「IPアドレスの設定」を参照してください。(初期IPアドレスは192.168.0.60)

正常にログインすると、eco PDUの「エネルギー」 / 「接続」ページが表示されます。

The screenshot shows the ATEN PDU308G web interface. The top navigation bar includes 'Energy', 'User', 'Log', 'Setup', and 'PDU'. The main content area is titled 'Connections | Configuration | Sensor Config'. On the left, there is a 'Station List' with a tree view showing 'COU1' and 'PDU308G'. The main display area is divided into three sections:

- PDU Status:** A table showing measurements for PDU Name 'PDU308G'.

PDU Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	PDU Status
PDU308G	Aggregate current	0.00 A		ON OFF Reboot
	Voltage	108.27 V		
	Power	0.0000 W		
	Aggregate power dissipation	0.0034 KWH		
- Environment Sensor Status:** A table with columns 'No.', 'Name', 'Model', and 'Measurement'. It shows 'No Sensor Hub Address'.
- Bank Status:** A table showing measurements for Bank Name '[01]'.

Bank Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Bank Status
[01]	Current	0.00 A		ON OFF Reboot
	Voltage	108.27 V		
	Power	0.0000 W		
	Power Dissipation	0.0034 KWH		
	Voltage frequency	60.00 Hz		
	Breaker	ON		
	Current	0.00 A		

At the bottom, it says '© Copyright 2022 ATEN @ International Co., Ltd.'

注意:

操作の詳細は次の章で説明します。セットアップ情報の詳細については、この章を読み進めてください。

ネットワーク設定

ネットワークを設定するには、次の手順に従ってください。

1. 「セットアップ」タブをクリックします。そうすると、次のような「デバイス設定」ページが表示されます。

The screenshot displays the ATEN PGB308G configuration interface. The top navigation bar includes 'Energy', 'User', 'Log', 'Setup', and 'PDU'. The 'Setup' tab is active, showing a breadcrumb trail: 'Device Configuration | Security | Wireless Network | Cascade | Rules | Scheduler | Python Script'. On the left, a 'Station List' shows a tree view with 'CO1 | PGB308G | PGB308G' selected. The main configuration area is divided into sections: 'General' (PDU Name, MAC Address, Firmware Version, Rack Location name), 'Service Ports' (radio buttons for 'Only HTTPs' and 'HTTP / HTTPs', input fields for HTTP and HTTPs ports), and 'Serial Settings' (dropdowns for Console Mode and RS485Serial Port Address). The footer contains the copyright notice: '© Copyright 2022 ATEN © International Co., Ltd.'

2. p.49「デバイス設定」に記載された情報に従ってフィールドに入力します。

管理者アカウントの変更

デフォルトの管理者ユーザーネームとパスワードを変更するには、次の手順に従ってください。

1. 「ユーザー」をクリックします。

ユーザーがシステムに追加されると、「アカウント」ページにユーザーの詳細リストが表示され、中央に詳細情報が表示されます。

The screenshot displays a web interface for user management. It is divided into two main sections: 'Administrator information' and 'User information'.

Administrator information section includes:

- Administrator:** Name: administrator, Password: [masked]
- SNMPv3 account information:** Name: administrator, Auth-password: [masked], Priv-Password: [masked]
- SNMPv1/v2c community:** Read community: administrator, Write community: administrator
- Telnet:** Name: teladmin, Password: [masked]
- SSH:** Name: sshadmin, Password: [masked]

User information section contains a table with columns for Management Name, Password, and a grid of checkboxes for outlets (All, 01-08).

Management Name	Password	[C01]Outlet								
		All	01	02	03	04	05	06	07	08
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

A 'Save' button is located at the bottom right of the form.

2. 上部の「管理者情報」セクションで、ユーザーネームとパスワードを変更し、「保存」をクリックします(ページの下部)。

注意:

ユーザーネームまたはパスワードを忘れた場合は、リセットボタンを使用してユニットをリセットしてください。詳細は、p.9「リセットボタン」を参照してください。

次の操作

ネットワークの設定とデフォルトの管理者ユーザーネームとパスワードの変更が完了したら、次の章で説明するユーザーの追加を含む他の管理操作に進むことができます。

第4章 ログイン

ログイン

eco PDUは、サポートされているインターネットブラウザを使って各種プラットフォームからアクセスできます。

注意:

ブラウザはTLS 1.2以降をサポートしている必要があります。

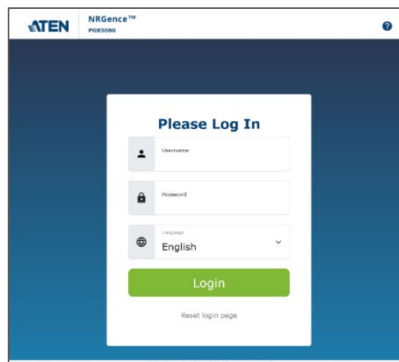
eco PDUにアクセスするには、次の手順に従ってください。

1. ブラウザを開いたら、アクセス対象となるeco PDUのIPアドレスをブラウザのURLバーに入力してください。(初期設定 : 192.168.0.60)

注意:

IPアドレスを変更している場合は管理者に確認するか、p.123「IPアドレスの設定」を参照して自分で確認・設定ができます。

2. セキュリティ警告ダイアログボックスが表示された場合は、証明書を受け入れてください(この証明書は信頼できます)。そうすると、ログインページが表示されます。



- 一般ユーザーの場合は管理者の方にて作成されたユーザー名とパスワードを入力してください。
- ドロップダウンメニューから希望の言語を選択します。
- 「ログイン」をクリックしてブラウザのメインページを表示します。

eco PDUのメインページ

正常にログインすると、eco PDUのメインページに「エネルギー」タブの「接続」ページが表示されます。

The screenshot shows the ATEN eco PDU main page. The interface includes a top navigation bar with the ATEN logo and model number PGB308G, and a menu with options: Energy, User, Log, Setup, and PDU. Below the navigation bar, there are tabs for Connections, Configuration, and Sensor Config. The main content area is divided into several sections:

- 1**: Points to the ATEN logo and model number.
- 2**: Points to the 'Connections' tab.
- 3**: Points to the 'Monitor List' on the left sidebar.
- 4**: Points to the 'Log' icon in the top navigation bar.
- 5**: Points to the 'PDU' icon in the top navigation bar.
- 6**: Points to the 'PDU Status' table.

The 'PDU Status' section contains the following table:

PDU Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	PDU Status
PGB308G	Aggregate current	0.00 A		ON OFF <input type="checkbox"/> Reboot
	Voltage	108.25 V		
	Power	0.0008 W		
	Aggregate power dissipation	0.0034 KWH		

The 'Environment Sensor Status' section contains the following table:

No.	Name	Model	Measurement
No Sensor Hub Address			

The 'Bank Status' section contains the following table:

Bank	Bank Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Bank Status
[01]		Current	0.00 A		ON OFF <input type="checkbox"/> Reboot
		Voltage	108.25 V		
		Power	0.0000 W		
		Power Dissipation	0.0004 KWH		
		Voltage frequency	59.99 Hz		
		Breaker	ON		
[02]		Current	0.00 A		ON OFF <input type="checkbox"/> Reboot
		Voltage	108.27 V		
		Power	0.0000 W		
		Power Dissipation	0.0000 KWH		
		Voltage frequency	59.97 Hz		
		Breaker	ON		

The 'Outlet Status' section contains the following table:

Outlet	Outlet Name	Auto Plug	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Outlet Status	Outlet Switching
[01]							

© Copyright 2022 ATEN © International Co., Ltd.

注意:

画面は管理者アカウントのページを示しています。ログインしたユーザーの種類と権限および型番によっては、一部が表示されない場合があります。

ページの構成要素

ウェブページ画面のコンポーネントは、以下の表に記載されています。

番号	項目	説明
1	タブバー	タブバーには、eco PDUの主な操作カテゴリーが含まれています。タブバーに表示される項目は、ユーザーの種類と、ユーザーアカウントの作成時に選択された設定権限によって決まります。
2	メニューバー	メニューバーには、タブバーで選択された項目内の操作サブカテゴリーが含まれています。メニューバーに表示される項目は、ユーザーの種類と、ユーザーアカウントの作成時に選択された設定権限によって決まります。
3	サイドバー	サイドバーは、各種タブバーおよびメニューバーの選択に関連するアウトレットのツリービューリストを提供します。
4	ヘルプ	デバイスの設定と操作に関するATENウェブサイトの「オンラインヘルプ」セクションに接続します。
5	ログアウト	このボタンをクリックすると、eco PDUセッションからログアウトします。
6	インタラクティブ ディスプレイパネル	これはメインの作業エリアです。表示される画面は、メニューの選択とサイドバーノードの選択を反映しています。

「エネルギー」ページには、「接続」、「設定」、「センサー設定」の各タブがあります。これらは次の章で説明します。

第5章 エネルギー

接続

eco PDUにログインすると、インターフェースはデフォルトで「エネルギー」>「接続」が選択され、メインパネルにPDUの状態、センサーの状態、バンクの状態、アウトレットの状態の各セクションが表示されます。

The screenshot displays the ATEN PG8308G PDU web interface. The top navigation bar includes 'Energy', 'User', 'Log', 'Setup', and 'PDU' tabs. The main content area is divided into four sections:

PDU Status

PDU Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	PDU Status
PG8308G	Aggregate current	0.00 A		<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
	Voltage	108.85 V		
	Power	0.0000 W		
	Aggregate power dissipation	0.0034 KWH		

Environment Sensor Status

No.	Name	Model	Measurement
No Sensor Hub Added			

Bank Status

Bank	Bank Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Bank Status
101		Current	0.00 A		<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
		Voltage	108.85 V		
		Power	0.0000 W		
		Power Dissipation	0.0034 KWH		
		Voltage frequency	60.09 Hz		
		Breaker	ON		
102		Current	0.00 A		<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
		Voltage	108.87 V		
		Power	0.0000 W		
		Power Dissipation	0.0000 KWH		
		Voltage frequency	60.02 Hz		
		Breaker	ON		

Outlet Status

Outlet	Outlet Name	Auto Ping Status	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Outlet Status	Outlet Switching
101	N/A		Current	0.00 A		<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot	
			Voltage	0.00 V			
			Power	0.0000 W			
			Power Dissipation	0.0000 KWH			
			Power factor	1.00			
102	N/A		Current	0.00 A		<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot	
			Voltage	108.85 V			
			Power	0.0000 W			
			Power Dissipation	0.0000 KWH			
103	N/A		Current	0.00 A		<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot	
			Voltage	108.85 V			
			Power	0.0000 W			

© Copyright 2022 ATEN © International Co., Ltd.

PDUの状態

イーサネット通信対応のeco PDUモデルは、PDU本体の電力量を監視できます。「PDUの状態」セクションでは、PDUデバイス全体の電源管理と設定ができます。

PDU Status				
PDU Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	PDU Status
PG8308G	Aggregate current	0.00 A		
	Voltage	108.67 V		
	Power	0.0000 W		
	Aggregate power dissipation	0.0034 KWH		
				<input type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot

- **PDU全体のしきい値設定**
これらの入力項目は、電力および総消費電力の最大しきい値設定を行うために使用されます。いずれかが最小設定を下回るか、最大を超えると、アラームが発報します。
- **ON / OFF / 再起動**
本体のアウトレットを一括でオンまたはオフにすることができます。再起動とは、ONの状態から一度OFFにして、ONに戻す機能です。再起動チェックボックスを有効にしてOFFをクリックします。

環境センサーの状態

イーサネット通信対応のeco PDUモデルは、各センサーに対応しています。「センサーの状態」セクションでは、PDUデバイスのセンサー管理設定を行うことができます。

Sensor Status				
Sensor Port	Address	Temperature	Humidity	Pressure
Sensor1	1	N/A	N/A	N/A
	Max Threshold	40.0		
	Min Threshold	30.0		

- **センサー1**
本体のセンサー1に接続されている場合、このフィールドに発報用の温度、湿度、圧力の最大および最小しきい値を設定できます。

センサーを追加するには、検索ボタン(🔍)をクリックして検索デバイスのポップアップウィンドウを開き、画面の指示に従って完了します。

注意:

センサーはオプション品です。詳細については、販売店にお問い合わせください。

バンクの状態

一部モデルeco PDUモデル(PG6シリーズなど)は、バンクレベルの監視をサポートしています。「バンクの状態」セクションでは、各バンクの電源監視設定ができます。

Bank Status						
Bank	Bank Name	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Bank Status	
[01]		Current	0.00 A			<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
		Voltage	109.50 V			
		Power	0.0000 W			
		Power Dissipation	0.0034 KWH			
		Voltage frequency	60.06 Hz			
		Breaker	ON			
[02]		Current	0.00 A			<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
		Voltage	109.53 V			
		Power	0.0000 W			
		Power Dissipation	0.0000 KWH			
		Voltage frequency	60.02 Hz			
		Breaker	ON			

- **しきい値設定**

これらのフィールドは、アウトレット合計の総電流、電圧、電力、および消費電力の最大および最小しきい値設定を行うために使用されます。いずれかが最小設定を下回るか、最大設定を超えると、アラームが発生します。

- **電圧周波数**はHzで表示されます。
- **ブレーカーの状態(ON/OFF)**がここに表示されます。

- **ON / OFF / 再起動**

バンク(アウトレットグループ)を一括でオンオフできます再起動とは、ONの状態から一度OFFにして、ONに戻す機能です。再起動チェックボックスを有効にしてOFFをクリックします。

アウトレットの状態

「アウトレットの状態」セクションでは、各アウトレットの電源管理設定を行うことができます。

Outlet Status							
Outlet	Outlet Name	Auto Ping Status	Measurement	Min Threshold	Max Threshold	Outlet Status	Outlet Switching
[01]		N/A	Current	0.00 A		OFF	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
			Voltage	0.00 V			
			Power	0.0000 W			
			Power Dissipation	0.0000 KWH			
			Power factor	1.00			
[02]		N/A	Current	0.00 A		ON	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
			Voltage	108.72 V			
			Power	0.0000 W			
			Power Dissipation	0.0000 KWH			
			Power factor	1.00			
[03]		N/A	Current	0.00 A		ON	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF <input type="checkbox"/> Reboot
			Voltage	108.72 V			
			Power	0.0000 W			
			Power Dissipation	0.0034 KWH			
			Power factor	1.00			

- **しきい値設定**

これらのフィールドは、各アウトレット電流、電圧、電力、および消費電力の最大および最小しきい値設定を行うために使用されます。いずれかが最小設定を下回るか、最大設定を超えると、アラームが発動します。

- **アウトレットの状態**

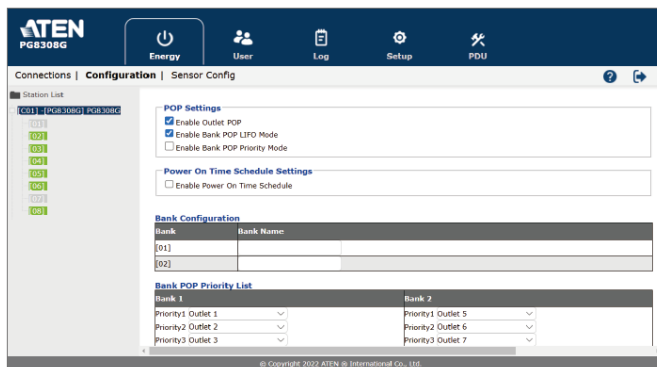
各アウトレットの状態(ON / OFF / POP)を示します。

- **ON / OFF / 再起動**

このページからON / OFFボタンをクリックすると、アウトレットを手動でオンまたはオフにすることができます。再起動とは、ONの状態から一度OFFにして、ONに戻す機能です。再起動チェックボックスを有効にしてOFFをクリックします。

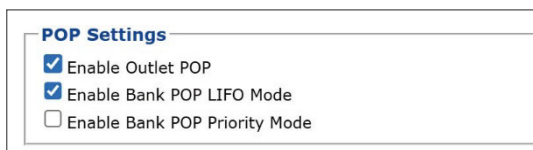
設定

「設定」ページは、バンクおよび個々の電源アウトレットレベルでeco PDUの設定を構成するために使用されます。



POP設定

ATEN独自の「プロアクティブ過負荷保護機能(POP)」の設定を行うことができます。この安全機能を有効にすると、重要ではないコンセント(非重要コンセント／非重要アウトレット)で過電流が発生した場合、自動的に電源供給を停止し、他に接続している機器を保護します。設定を有効にするには、使用したいPOPモードのチェックボックスをオンにしてから「保存」をクリックしてください。



- **アウトレットPOPモードを有効にする:** 電流過負荷が発生したときにアウトレットの電源を自動的にオフにします。
- **バンクPOP LIFOモードを有効にする:** 電流過負荷が発生したときに、最後に入ったものから順にアウトレットの電源を自動的にオフにします。
- **バンクPOP優先モードを有効にする:** 事前に設定されたバンクPOP優先リストに従ってアウトレットの電源を自動的にオフにします。詳細は、p.33「バンクPOP優先リスト」を参照してください。

電源投入時のスケジュール設定

「Enable Power On Time Schedule」(電源オンのタイムスケジュールを有効化)にチェックを入れると、設定した「Power ON Delay」(電源投入遅延時間)が適用され、eco PDUがインレットからの給電を受けた時に、指定した時間だけ遅延してからアウトレットに電源が投入されます。詳細な設定手順については、次ページの表にある「Power ON Delay (電源投入遅延設定)」をご参照ください。

Power On Time Schedule Settings	
<input type="checkbox"/>	Enable Power On Time Schedule

バンク設定

各バンクには、独自の名前を付けることができます(PG98230シリーズは3/バンク、最大文字数は15文字です)。

Bank Configuration	
Bank	Bank Name
[01]	test
[02]	a01b02c03d04


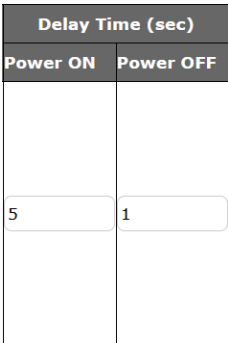
バンクPOP優先リスト

このフィールドでは、eco PDUがこのリストに設定された順序に従ってアウトレットの電源をオフにするPOP優先リストを設定することができます。

Bank POP Priority List	
Bank 1	Bank 2
Priority1 Outlet 1 <input type="button" value="v"/>	Priority1 Outlet 5 <input type="button" value="v"/>
Priority2 Outlet 2 <input type="button" value="v"/>	Priority2 Outlet 6 <input type="button" value="v"/>
Priority3 Outlet 3 <input type="button" value="v"/>	Priority3 Outlet 7 <input type="button" value="v"/>
Priority4 Outlet 4 <input type="button" value="v"/>	Priority4 Outlet 8 <input type="button" value="v"/>

アウトレット設定

アウトレット設定では、選択したアウトレットの電源管理設定を行うことができます。フィールド見出しの意味は、以下の表に記載されています。

制御/表示	説明						
アウトレット	リストされているアウトレットのポート番号を表示します。						
アウトレット名	各アウトレットには、固有の名前を付けることができます。最大文字数は48文字です。						
確認が必要	<p>このオプションが有効になっている場合(チェックボックスにチェックが入っている場合)、実行前に電源操作を確認するダイアログボックスが表示されます。無効になっている場合(チェックボックスにチェックが入っていない場合)、確認なしで操作が実行されます。</p>  <p>The image shows a vertical dialog box with a dark header containing the text 'Confirmation Required'. Below the header is a white area with a small square checkbox.</p>						
遅延時間(秒) 電源ON	<p>電源ボタンをクリックした後、eco PDUがアウトレットに電源を投入するまでの待機時間を設定します(p.31「アウトレットの状態」を参照)。</p>  <p>The image shows a table for configuring delay times. The table has a header 'Delay Time (sec)' and two columns: 'Power ON' and 'Power OFF'. Below the columns are input fields containing the values '5' and '1' respectively.</p> <table border="1" data-bbox="546 882 773 1225"> <thead> <tr> <th colspan="2">Delay Time (sec)</th> </tr> <tr> <th>Power ON</th> <th>Power OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注意: デフォルトの遅延時間は5秒で、最大値は999秒です。</p>	Delay Time (sec)		Power ON	Power OFF	5	1
Delay Time (sec)							
Power ON	Power OFF						
5	1						
遅延時間(秒) 電源OFF	<p>電源ボタンをクリックした後、eco PDUがアウトレットの電源を切断するまでの待機時間を設定します(p.31「アウトレットの状態」を参照)。 デフォルトの遅延時間は1秒です。最大遅延時間は999秒です。</p>						

制御/表示	説明
遠隔電源投入方法	<p>ドロップダウンメニューを使用して、以下の選択肢のいずれかを選択します。</p> <div data-bbox="517 193 773 405" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">Remote Turn ON Method</p> <hr/> <p>Method: Kill the Power ▼</p> <p>MAC Address: 000000000000</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <p>• Wake on LAN</p> <p>これはセーフシャットダウンと再起動のオプションです。これが選択されている場合、OFFボタンを押すと、eco PDUからコンピューターにあらかじめインストールしたATEN製アプリに対してシャットダウンメッセージを送信します。次に、「Power Off Delay」の項目で設定された時間だけ待機して、給電を遮断します。</p> <p>同様に、アウトレットがONになると、eco PDUは「Power On Delay」の項目で設定された時間待機し、給電を開始したらアウトレットに接続されたコンピューターにマジックパケット(WakeOnLAN)を送信します。</p> <p>注意:セーフシャットダウンはWindows(98以上)または対応Linuxのみとなります。また、セーフシャットダウンプログラム(弊社ウェブサイトからダウンロード可能)をコンピューターにインストールし、このプログラムを実行してスタンバイさせておいてください。命令は同じインターネットセグメント内までとなります(ルーター超え不可)。</p> <p>• System after AC Back</p> <p>これはセーフシャットダウンと再起動のオプションです。OFFボタンを押すと、eco PDUからコンピューターにあらかじめインストールしたATEN製アプリに対してシャットダウンメッセージを送信します。次に、「Power Off Delay」の項目で設定された時間だけ待機して、OSが終了する時間を確保してから、コンピューターの電源を切ります。</p> <p>アウトレットをONにすると、eco PDUは「Power On Delay」の項目で設定された時間待機し、アウトレットへ給電します。サーバーは予めBIOS/UEFIでAC backを設定しておくことで給電時に起動します。</p> <p>注意:セーフシャットダウンと再起動を行うには、コンピューターでWindows(98以上)またはLinuxを実行してください。また、セーフシャットダウンプログラム(弊社ウェブサイトからダウンロード可能)をコンピューターにインストールし、このプログラムを実行してください。命令は同じインターネットセグメント内までとなります(ルーター超え不可)。</p> <p>• Kill the Power</p> <p>このオプションを選択すると、eco PDUは「Power Off Delay」の項目で設定された時間待機してから、アウトレットの電源をOFFにします。</p>

	PCなどにパケットを送信せずにアウトレットの給電/遮断をします。
--	----------------------------------

制御/表示	説明
-------	----

MACアドレス	セーフシャットダウンと再起動のいずれかの方法を使用するには、アウトレットに接続されたコンピューターのMACアドレスをここに入力する必要があります。
---------	---

自動Ping方法	「自動Ping方式」とは、eco PDUが指定した機器(デバイス)のネットワーク状態をPingで監視し、応答がない場合にアウトレット(コンセント)の電源を自動的に再起動する機能です。この設定を使用する場合は「有効化」のチェックボックスをオンにしてください。
----------	--

- #### ● アウトレット制御

この設定を有効にすると、eco PDUが指定回数Pingを送信しても機器から応答が得られなかった場合、自動的にアウトレットの電源を再起動します。再起動を実施するまでのPing失敗回数は「連続Ping失敗回数(アウトレット再起動)」欄で設定できます。

- #### ● Ping間隔

自動的にPingを送信してネットワーク上の機器を監視する際の、各Ping送信間の間隔を秒単位で入力してください。

- #### ● 最初のPing前の待機時間

再起動時にアウトレットが電源オンになってから、最初のPingを送信するまでに待機する時間を秒単位で入力してください。

- #### ● 連続したping失敗(アウトレットの再起動)

機器がPingに回答しなくなった際、eco PDUが再起動処理を開始するまでに連続してPingを試行する回数を入力してください。この回数に達しても応答がない場合、アウトレットが再起動されます。

- #### ● 最大アウトレット再起動回数

eco PDUがアウトレットの再起動を試みる最大回数を入力してください。指定した回数に達すると、再起動試行は停止します。この回数は「連続Ping失敗回数(アウトレット再起動)」で設定したPingの試行回数ごとに適用されます。

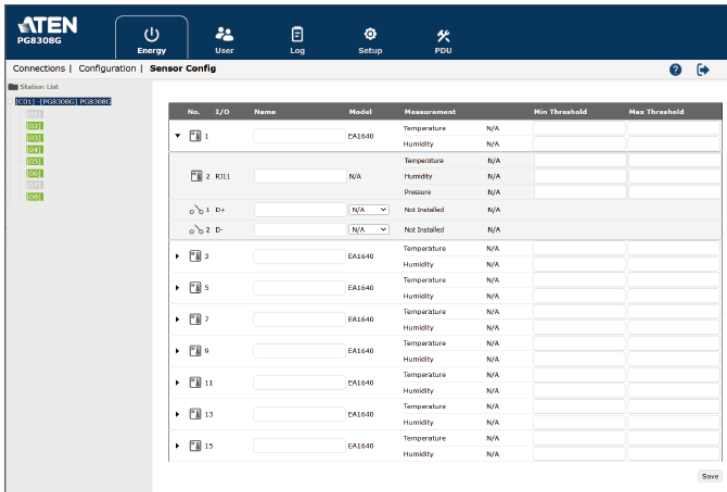
◆ IPアドレス

監視対象となるデバイス(機器)のIPアドレスを入力してください。

設定が完了したら、「保存」をクリックしてください。

センサー設定

「センサー設定」ページでは、PG8308に接続される温度・湿度センサーEA1640および前述のEA1640センサーに接続される他のセンサーのアラームを設定できます。



項目	説明
I/O	接続されたEA1640のポートタイプを表示します。
名前	接続されたセンサーの名前を定義します。
モデル	接続されたセンサーのモデル名を表示します。
測定	接続されたセンサーが検出・監視する環境内の物理現象を表示します。
しきい値	アラームを発報する最小および最大のしきい値を設定します。

センサー設置

各EA1640が他のモデルのセンサーと接続されていない場合、最大8台のEA1640をカスケード接続できます。異なるモデルのセンサーを設置する場合、以下に指定された最大カスケード接続数に注意してください。

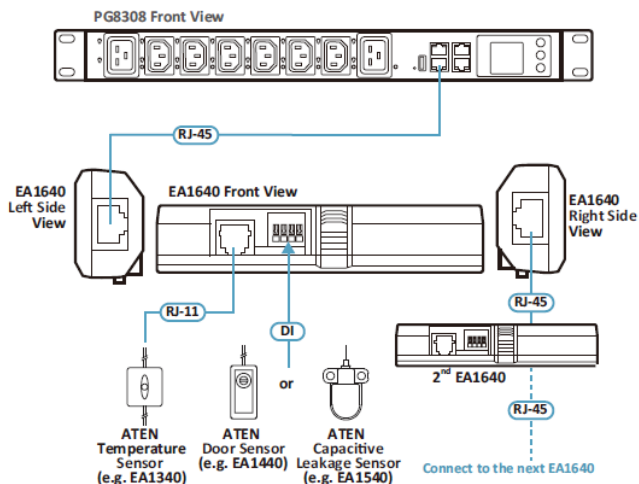
各EA1640に接続されるセンサーの数		EA1640センサーの最大数
RJ-11センサーポート	4ピンターミナルブロック	
0	0	8
0	1	3
1	0	7
1	1	3

注意:

1. 直列に接続された8台のEA1640の最大伝送距離は40mです。
2. 接続するセンサーには、最大のEA1640のユニット数を推定するために、最大消費電力モデルであるEA1340(RJ-11センサーポート用)およびEA1440(4ピンターミナルブロック用)を使用します。
3. センサーは別売りです。製品情報については、ATENの販売店にお問い合わせいただくか、ATENのウェブサイトをご覧ください。

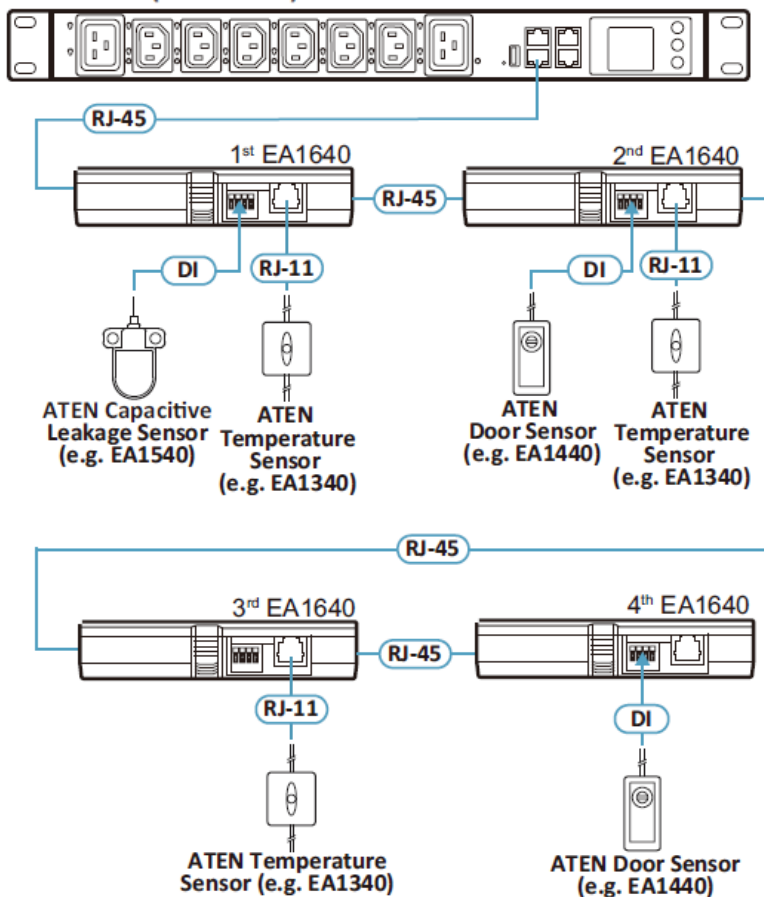
以下の図は、センサーのセットアップ例を示しています。

- ◆ 1台のセンサーEA1640を接続



- ◆ センサーEA1640のカスケード接続

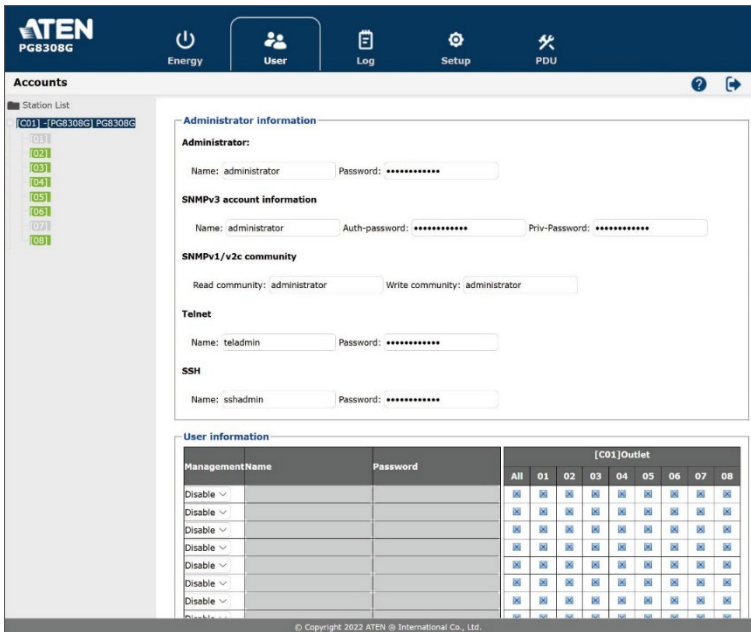
PG8308 (Front View)



第6章 ユーザー管理

概要

「ユーザー」タブを選択すると、「アカウント」メニューが表示され、メインパネルに「管理者情報」と「ユーザー情報」が表示されます。



注意:

管理者用アカウント(administratorアカウント)があらかじめ作成されています。このアカウントを使用して、初期設定やユーザーおよびグループの作成を開始できます。デフォルトのユーザー名とパスワードは、それぞれ「administrator」と「password」です。

セキュリティ保護のため、初回ログイン後はこれらを必ず任意の安全なユーザー名およびパスワードに変更することを強く推奨します。

管理者情報

このセクションは、管理者のユーザー名とパスワードを設定するために使用されます。このセクションは、管理者のみが表示できます。詳細については、p.23「管理者ログインの変更」を参照してください。

The screenshot shows a web form titled "Administrator Information". It contains the following sections and fields:

- Administrator:** Name: administrator, Password: [masked]
- SNMPv3 account information:** Name: administrator, Auth-password: [masked], Priv-Password: [masked]
- SNMPv1/v2c community:** Read community: administrator, Write community: administrator
- Telnet:** Name: teladmin, Password: [masked]
- SSH:** Name: sshadmin, Password: [masked]

- **管理者**
管理者のユーザー名とパスワードを定義します。
- **SNMPv3アカウント情報**
必要に応じて、SNMPv3認証で使用するユーザー名、Auth-Password(認証パスワード)、およびPriv-Password(暗号化パスワード)の各値を入力します。
- **SNMPv1/v2cコミュニティ**
必要に応じて、SNMPv1/v2c認証に使用するRead community(読み取りコミュニティ名)とWrite community(書き込みコミュニティ名)を入力します。
- **Telnet**
Telnet経由でログインする際に使用するアカウントを変更するには、ユーザー名とパスワードを変更します。ここで設定したユーザー名およびパスワードは、Telnetによる遠隔操作・管理用のアカウントにのみ適用されます
- **SSH**
SSH経由のログインに使用するアカウントを変更するには、必須フィールドに値を入力します。ここで設定したユーザー名およびパスワードは、SSHによる遠隔操作・管理用のアカウントにのみ適用されます

設定が完了したら、「**保存**」をクリックしてください。

ユーザー情報

User information			[C01]Outlet								
ManagementName	Password		All	01	02	03	04	05	06	07	08
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Disable ▾			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ユーザーを追加するには、次の手順に従って操作を行ってください。




1. 「管理」の項目を有効に設定します。
2. 「名前」と「パスワード」の各項目に、それぞれ名前とパスワードを入力してください。
3. 「アウトレット」の項目に、ユーザーのアウトレット別の権限を設定してください。
4. 「保存」をクリックして設定を保存してください。

注意:

アカウントを有効にするには、「名前」と「パスワード」の両方の項目に値を入力する必要があります。

利用可能なオプションは、以下の表で説明されています。

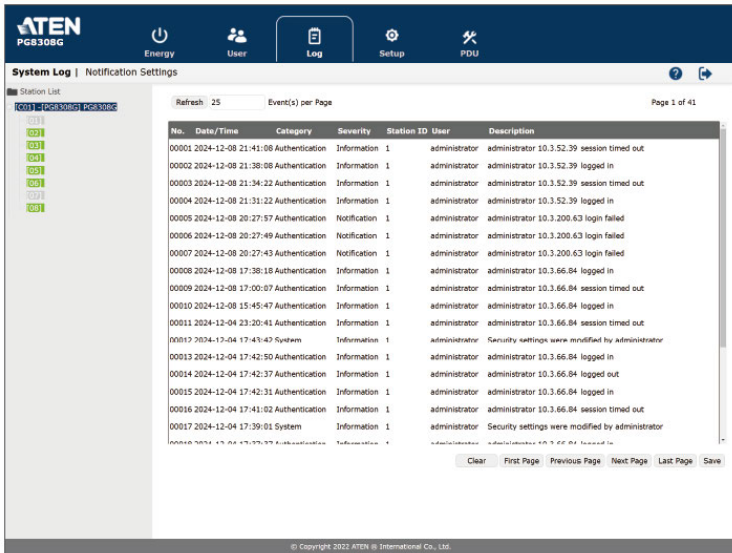
項目	説明
管理	<p>「管理」の項目では、ユーザーのアカウントを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 有効 - ユーザーアカウントを保存します。 ◆ 無効 - ユーザーアカウントを無効にします。
名前	半角英数字 1~16文字
パスワード	半角英数字 1~16文字

項目	説明	
アウトレット	この項目では、ユーザーのアウトレット別の権限を設定できます。ユーザー/ポートアイコンをクリックして、次の3つの権限オプションを切り替えます。	
		ユーザーはこのアウトレットに完全にアクセスできます。
		ユーザーは、このアウトレットに対して参照のみの権限を持っています。
		ユーザーはこのアウトレットにアクセスできません。
保存	このボタンをクリックすると、操作や変更を保存します。	

第7章 ログ

概要

eco PDUは、本体で発生したすべての操作や動作履歴(イベントログ)を記録し、常時最大1024件までのイベントを保持します。保存されるイベントが1024件を超えると、古い履歴から順番に削除され、新しい履歴が記録されていきます。



システムログイベントリスト

「システムログ」では、強力なフィルター機能および各種ツールを備えており、記録されたログの閲覧やエクスポートができます。また、特定のイベントが発生した際に、SNMPトラップやSyslog、SMTP（メール通知）を利用してリアルタイムに通知を受け取ることも可能です。

No.	Date/Time	Category	Severity	Station ID	User	Description
00001	2024-12-08 21:41:58	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.52.39 session timed out
00002	2024-12-08 21:38:06	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.52.39 logged in
00003	2024-12-08 21:34:23	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.52.39 session timed out
00004	2024-12-08 21:31:22	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.52.39 logged in
00005	2024-12-08 20:27:57	Authentication	Notification	I	administrator	administrator: 10.3.200.63 login failed
00006	2024-12-08 20:27:49	Authentication	Notification	I	administrator	administrator: 10.3.200.63 login failed
00007	2024-12-08 20:27:42	Authentication	Notification	I	administrator	administrator: 10.3.200.63 login failed
00008	2024-12-08 17:38:18	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 logged in
00009	2024-12-08 17:00:47	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 session timed out
00010	2024-12-08 15:45:47	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 logged in
00011	2024-12-04 13:20:41	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 session timed out
00012	2024-12-04 17:43:42	System	Information	I	administrator	Security settings were modified by administrator
00013	2024-12-04 17:43:50	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 logged in
00014	2024-12-04 17:42:37	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 logged out
00015	2024-12-04 17:43:31	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 logged in
00016	2024-12-04 17:41:52	Authentication	Information	I	administrator	administrator: 10.3.66.84 session timed out
00017	2024-12-04 17:39:41	System	Information	I	administrator	Security settings were modified by administrator

- サイドバーでデバイスをクリックすると、メインパネルのログイベントリストにそのログイベントが表示されます。
- 「更新」ボタンをクリックすると、最新情報に更新されます。
- 「更新」ボタンの右側にある入力ボックスで、ページごとに表示されるイベントの数を設定できます。
- メインパネルの右上には、ログファイルの総ページ数と、現在表示しているページの番号が表示されます。
- 下段のボタンは次のように機能します。
 - **消去:**
クリックすると、ログイベントリストの内容が消去されます。
 - **最初のページ:**
クリックすると、ログイベントリストの最初のページに移動します。
 - **前のページ:**
クリックすると、ログイベントリストの前のページに移動します。
 - **次のページ:**
クリックすると、ログイベントリストの次のページに移動します

- ・ **最後のページ:**
クリックすると、ログイベントリストの最後のページに移動します
- ・ **保存:**
クリックすると、ログイベントリストの内容をエクスポートファイルとして保存します。 .csvファイルまたは.txtファイルとして保存を選択し、再度「保存」をクリックしてエクスポートします。

通知設定

「通知設定」では、eco PDUでログイベント(各種動作やシステムイベント)が発生した際に、どの通知手段を利用して通知を行うかを設定します。「Notification Settings (通知設定)」メニューをクリックすると、次のような画面が表示されます。

Event	Syslog	E-mail	SNMP
> Enable all system events	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
< Enable all Authentication events	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
User login	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
User login failure	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
User logout	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Session timeout	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
User locked	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
User unlocked	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
> Enable all User Management events	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
> Enable all Device Management events	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

Save

- ・ ページを最初に開いた時点では、メインカテゴリの項目のみが表示されています。(メインカテゴリの行は背景がグレーで表示されています。)
- ・ メインカテゴリの各項目をクリックすると、サブカテゴリや詳細項目が展開表示されます。イベントカテゴリが左側の列に表示されます。
- ・ サブカテゴリの項目は、メインカテゴリの下に階層状に格納されています。
- ・ メインカテゴリの見出しの左側にある(▶マークや+マークなど)をクリックすると、サブカテゴリの項目が展開して表示されます。(サブカテゴリの項目行の背景色は白色です。)
- ・ 各列の見出し下にあるチェックボックスをクリックして、ログイベント発生時に通知を送りたい通知先を選択してください。
 - ・ メインカテゴリの見出しの行をクリックすると、その下にネストされているすべてのサブカテゴリ項目が自動的に選択されます。
 - ・ サブカテゴリのイベントの一部にのみ通知を設定したい場合は、メイン

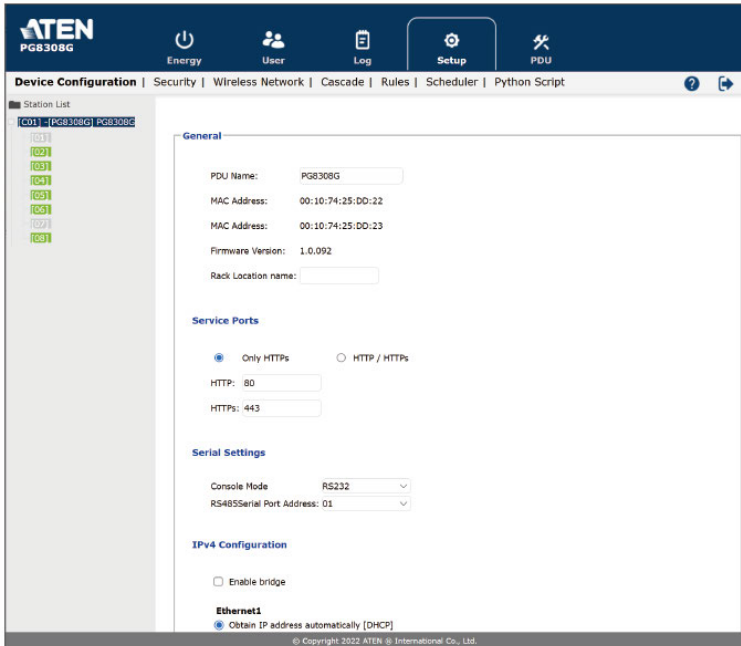
カテゴリー一行にチェックを入れないでください。代わりに、サブカテゴリーリストを展開し、必要なサブカテゴリーのイベントのみをチェックします。

- 設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックしてください。指定したログイベントが発生すると、選択した通知先（メール、SNMPトラップ、Syslogなど）に通知が送信されます。

第8章 セットアップ

デバイス管理

「セットアップ」ページでは、管理者およびデバイス管理の権限を持つユーザーが、eco PDUの各種機能や全体的な動作を設定・管理することができます。



デバイス設定

このページでは、選択されたデバイスに関する情報が表示されています。以下のセクションで、その詳細について説明します。

全般

General

PDU Name:

MAC Address: 00:10:74:25:DD:22

MAC Address: 00:10:74:25:DD:23

Firmware Version: 1.0.092

Rack Location name:

項目	意味
PDU名	この項目では、デバイスの名前を変更できます。デバイスに設定する名前を入力してください。(画面下部にある)「保存」をクリックすると、新しい名前を保存します。
MACアドレス	この項目は、eco PDUのMACアドレスを表示します。
ファームウェアバージョン	この項目は、現在のファームウェアバージョンを表示します。ATENのウェブサイトですべての新しいバージョンが利用可能かどうかを確認できます。
ラックの場所名	ラックの設置場所を識別しやすいように、任意の名前を設定することができます。

サービスポート

セキュリティ対策の一環として、ファイアウォールを使用している場合は、管理者が許可するポート番号を指定できます。デフォルト(標準設定)以外のポート番号を指定した場合、ユーザーがログインするときはIPアドレスの後にポート番号を指定する必要があります。無効なポート番号を指定したり、ポート番号を指定しなかったりすると、eco PDUに接続できません。

(例)

192.168.1.100:8080

ブラウザからのログインをセキュア接続(HTTPS)のみに限定するかどうかを、以下の設定で選択します。

Service Ports

Only HTTPs HTTP / HTTPs

HTTP:

HTTPS:

各項目の内容は下表のとおりです。

項目	説明
HTTP	ブラウザからのログインの際に使用するポート番号です。デフォルトは80です。
HTTPS	セキュア接続でログインする際に使用するポート番号です。デフォルトは 443 です。

注意:

1. 1～65535の範囲内で有効な値を入力してください。
2. 各サービス用ポートには、重複しない異なる値を設定する必要があります。同じポート番号を複数のサービスに割り当てることはできません。
3. ファイアウォールが存在しない場合(たとえば社内ネットワーク内で使用する場合など)、これらのポート番号の設定値に特別な意味はなく、どの番号を設定しても影響はありません。

シリアル設定

このフィールドでは、ハードウェアおよびソフトウェアコントローラーからリモート制御を行うために、コンソールモードとRS-485シリアルポートアドレスを設定できます。

Serial Settings

Console Mode

RS485Serial Port Address:

IPv4設定

eco PDUのIPv4アドレスおよびDNSアドレス(従来のIPアドレス指定方式)は、DHCPによる自動割り当て、または固定IPアドレスの手動設定のいずれかで設定できません。

IPv4 Configuration

Enable bridge

Ethernet1

Obtain IP address automatically [DHCP]

Set IP address manually [Fixed IP]

IP Address:

Subnet Mask:

Default Gateway:

Obtain DNS server address automatically

Set DNS server address manually

Preferred DNS Server:

Alternate DNS Server:

Ethernet2

Obtain IP address automatically [DHCP]

Set IP address manually [Fixed IP]

IP Address:

Subnet Mask:

Default Gateway:

Obtain DNS server address automatically

Set DNS server address manually

Preferred DNS Server:

Alternate DNS Server:

Enable DHCP server

IP Pool Starting Address:

IP Pool Ending Address:

- 動的IPアドレスを割り当てる場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンを選択してください(はデフォルト設定)。
- 固定IPアドレスを指定するには、「IPアドレスを手動で設定する」ラジオボタンを選択し、ネットワークに適した値でIPアドレスを入力してください。
- DNSサーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンを選択してください。
- DNSサーバーのアドレスを手動で割り当てる場合は、「DNSサーバーアドレスの手動設定」のラジオボタンを選択し、お使いのネットワークの優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのIPアドレスをそれぞれ入力してください。

注意:

1. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択した場合、デバイス起動時にDHCPサーバからIPアドレスの割り当てを待ちます。ただし、1分以内にIPアドレスを取得できなかった場合は、自動的にデフォルトのIPアドレス(192.168.0.60)に戻ります。
 2. DHCPを使用してネットワークアドレスを割り当てるネットワーク上にデバイスがあり、そのIPアドレスを確認する必要がある場合は、p.123「IPアドレスの設定」を参照してください。
 3. 代替DNSサーバーのアドレス設定は任意です。
-

IPv6設定

eco PDUのIPv6アドレスおよびDNSアドレスは、DHCPによる自動割り当て、または固定IPアドレスの手動設定のいずれかで設定できます。(IPv6もIPアドレスを指定する従来の一般的な方式に基づいています。)

IPv6 Configuration

Ethernet1

Enable autoconfiguration

Set configuration manually

IP Address:

Static Prefix Length:

Default Gateway:

Use DHCPv6 to obtain DNS Server Addresses

Set DNS server address manually

Preferred DNS Server:

Alternate DNS Server:

Ethernet2

Enable autoconfiguration

Set configuration manually

IP Address:

Static Prefix Length:

Default Gateway:

Use DHCPv6 to obtain DNS Server Addresses

Set DNS server address manually

Preferred DNS Server:

Alternate DNS Server:

- 動的IPアドレスを割り当てる場合は、「自動設定を有効にする」のラジオボタンを選択してください(これはデフォルト設定です)。
- 固定IPアドレスを指定するには、「設定を手動で設定する」ラジオボタンを選択し、ネットワークに適した値でIPアドレスを入力してください。
- DNSサーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「DHCPv6を使用してDNSサーバーアドレスを取得する」のラジオボタンを選択してください。
- DNSサーバーのアドレスを手動で割り当てる場合は、「DNSサーバーアドレスの手動設定」のラジオボタンを選択し、お使いのネットワークの優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのIPアドレスをそれぞれ入力してください。

注意:

1. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択した場合、デバイスが起動すると、DHCPサーバーから割り当てられたIPアドレスを待機します。1分経過してもIPアドレスが取得されない場合は、デフォルトのIPアドレスに自動的に戻ります。
 2. デバイスがDHCPを使用してネットワークアドレスを割り当てるネットワーク上にあり、そのIPアドレスを確認する必要がある場合は、p.123「IPアドレスの設定」を参照してください。
 3. 代替DNSサーバーのアドレス設定は任意です。
-

イベント通知

「イベント通知」セクションは、SMTP設定、SNMPトラップ受信者、Syslogサーバーの3つのセクションに分かれています。各セクションについて以下に説明します。

注意:

SMTP通信の初期設定は25番ポートとなります。

SMTPサーバー

Event Notification

SMTP Server

Enable report from the following SMTP Server

SMTP Server:

SMTP Port Number:

Server requires authentication

Account Name:

Password:

Enable secure connection (STARTTLS)

From:

To:

eco PDUデバイスがSMTPサーバーからメールレポートを送信するには、以下の手順を行ってください。

1. 「以下のSMTPサーバーからのレポートを有効にする」にチェックを入れ、SMTPサーバーのIPアドレスを入力してください。
2. サーバーが認証を必要とする場合は、「サーバーが認証を必要とする」にチェックを入れてください。
3. 「アカウント名」、「パスワード」、および「差出人」の各項目に該当するアカウント情報を入力してください。

注意:

「差出人」フィールドには1つのメールアドレスのみ許可され、64文字を超えることはできません。

-
4. (オプション)TLS暗号化を有効にするには、「セキュア接続を有効にする (STARTTLS)」にチェックを入れてください。TLS1.0、TLS1.1、およびTLS1.2をサポートしています。
 5. 「宛先」フィールドに、イベントレポートを送信したいメールアドレスを入力してください。

注意:

レポートを複数のメールアドレスに送信する場合は、使用しているメールアドレスの仕様に応じて、セミコロン (;) またはカンマ (,) でアドレスを区切ってください。入力できる全体の文字数は 256文字以内です。

SNMPトラップ通知

SNMPトラップの通知先は最大で**4台まで**指定できます。SNMPトラップ通知を送信するには、以下の手順を行ってください。

SNMP Trap Receiver
 Enable SNMP Trap SNMPv3 SNMPv2c SNMPv1
Receiver IP 1:
Service Port 1:
Community 1:
User name 1:
Auth-password 1:
Priv-Password 1:
Receiver IP 2:
Service Port 2:
Community 2:
User name 2:
Auth-password 2:
Priv-Password 2:

1. 「SNMPトラップを有効にする」にチェックを入れてください。
2. 使用するSNMPのバージョンを選択してください。
3. SNMPトラップイベントで通知されるコンピューターのIPアドレスとサービスポート番号を入力してください。有効なポート範囲は1～65535で、デフォルトのポート値は162です。

注意:

ここで指定するポート番号が、SNMPトラップの通知先で使用されるポート番号と一致していることを確認してください。

4. 使用するSNMPのバージョン(SNMPv1およびSNMPv2c)が必要な場合は、コミュニティ値を入力してください。
5. 使用するSMPのバージョン(SNMPv3)に応じて、各ステーションに対応する認証/プライバシーパスワードを入力してください。

Syslogサーバー

eco PDU上で発生するすべてのイベントを記録し、Syslogサーバに送信するには、以下の手順を実行してください。

Syslog Server

Enable Syslog Server

Server IP:

Service Port:

1. 「**Syslogサーバーを有効にする**」にチェックを入れてください。
2. SyslogサーバーのIPアドレスとポート番号を入力してください。有効なポート範囲は1～65535です。デフォルトのポート値は514です。

日付/時刻

以下の説明に従って、各パラメーターを設定してください。

Date Time

Time Zone


(UTC+08:00) Taipei

Daylight Savings Time

タイムゾーン

- eco PDUが設置されている地域のタイムゾーンを設定するには、「**タイムゾーン**」ドロップダウンメニューから、最も近い都市を選択してください。
- お住まいの国または地域がサマータイムを導入している場合は、チェックを入れてください。

手動入力

Manually Input
Date: (YYYY-MM-DD) 
Time: (HH:MM:SS)
 Sync with PC

このセクションを使用して、eco PDUの日付と時刻を手動で指定します。

- カレンダーアイコンをクリックし、日付のカレンダーエントリを選択してください。
- HH:MM:SS(時、分、秒)形式を使用して、時刻を「時刻」の項目に入力してください。



注意:

このセクションは、「ネットワークタイム」セクションで自動調整が無効(チェックが外れている)場合にのみ有効です。

日付と時刻を手動で入力する代わりに、「PCと同期」のチェックボックスをオンにすることで、eco PDUはブラウザアクセスしたPCの日時設定を自動的に取得することができます。

ネットワーク時刻

時刻をネットワークタイムサーバーに自動的に同期させるには、以下の手順を行ってください。

Network Time
 Enable auto adjustment
AU | ntp1.cs.mu.OZ.AU 
 Preferred custom server IP:
 Alternate time server:
AU | ntp1.cs.mu.OZ.AU 
 Alternate custom server IP:
Adjust time every days

1. 「自動調整を有効にする」チェックボックスをONにしてください。
2. お好みのタイムサーバーを選択するか、
「優先カスタムサーバーIP」チェックボックスをONにし、選択したタイムサーバーのIPアドレスを入力してください。
3. 代替タイムサーバーを設定する場合は、「代替タイムサーバー」チェックボックスをONにして、代替タイムサーバーに対して手順2の操作を繰り返してください。
4. 同期手順の間の日数を入力してください。

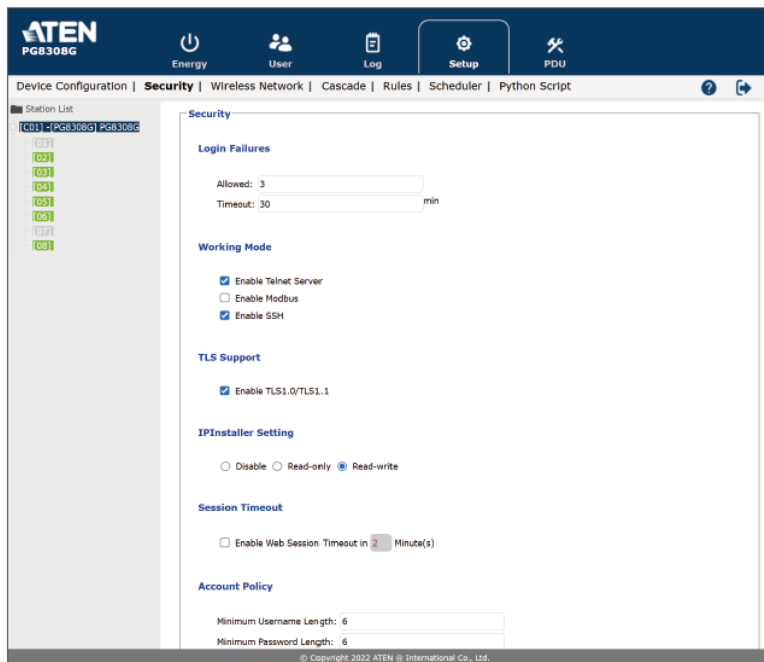
入力が終わったら

この画面で項目への入力・設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックしてください。

変更を保存した後、すぐに同期する場合は、「**今すぐ時間を調整**」をクリックしてください。

セキュリティ

「セキュリティ」ページはeco PDUへのアクセス設定を管理します。



ログイン失敗

ログイン失敗は、アカウントロックアウトポリシーを設定することができます。

Login Failures

Allowed:

Timeout: min

「許可された」フィールドには、ユーザーアカウントがロックされる失敗したログイン試行の回数を入力してください。「タイムアウト」フィールドには、アカウントロックアウトの期間を入力してください。

動作モード

Working Mode

Enable Telnet Server

Enable Modbus

Enable SSH

- 「Telnetサーバーを有効にする」にチェックを入れると、にチェックを入れると、Telnetセッションを使用してeco PDUへアクセスできるようになります。この場合、Telnet用のユーザー名とパスワードでログインする必要があります。(p.106「Telnet」を参照)。
- 「Modbusを有効にする」にチェックを入れると、電流・電圧・電力・温度・湿度・気圧などの測定データをModbus通信プロトコル経由で取得できます。
- 「SSHを有効にする」にチェックを入れると、電流・電圧・電力・温度・湿度・気圧などの測定データを、SSH暗号化通信プロトコルを通じて取得できます。

TLSサポート

TLS Support

Enable TLS1.0/TLS1.1

「TLSサポート」にチェックを入れると、TLS1.0またはTLS1.1データ暗号化をサポートする古いコンピューターや古いウェブブラウザでPDUにアクセスできます。

IPインストーラーの設定

IPInstaller Setting

Disable Read-only Read-write

- 「無効」にチェックを入れると、eco PDUのIPアドレスはIPインストーラーソフトウェアで見つけることができません。
- 「読み取り専用」をチェックすると、eco PDUのIPアドレスを見つけることはできますが、IPインストーラーソフトウェアでは設定できません。
- 「読み込み&書き込み」をチェックすると、eco PDUのIPアドレスの確認、およびIPインストーラーソフトウェアで設定可能です。

セッションタイムアウト

Session Timeout

Enable Web Session Timeout in Minute(s)

「ウェブセッションタイムアウトを有効にする」の項目にチェックを入れると、ユーザーのWebセッションは指定された非操作時間を超えると自動的にログアウトされます。

アカウントポリシー

「アカウントポリシー」セクションは、ログインユーザー名とパスワードに関するポリシーを管理します。

Account Policy

Minimum Username Length:

Minimum Password Length:

Password Must Contain at Least:

- One Upper Case
- One Lower Case
- One Number

Disable Duplicate Login

ポリシーを確認し、必要な情報を適切な項目に入力してください。

項目	説明
ユーザー名最小文字数	ユーザー名に必要な最小文字数を設定します。 設定可能な範囲は 1～16文字 です。
パスワード最小文字数	パスワードに必要な文字数を設定します。 設定可能な範囲は 1～16文字 です。
パスワードには少なくとも以下の項目を含める必要があります	以下のいずれかの項目にチェックを入れると、ユーザーはパスワードに該当する文字種を少なくとも1つ以上含める必要があります。 注意: このポリシーは既存のユーザーアカウントには影響しません。有効化後に作成された新しいアカウント、またはパスワード変更を求められたユーザーにのみ適用されます。
重複ログインの無効化	このオプションにチェックを入れると、同じアカウントで複数のユーザーが同時にログインすることを防止できます。

IPフィルター/MACフィルター

The screenshot shows a configuration window titled "IP Filter/MAC Filter". It is divided into two main sections. The upper section is for IP filtering, featuring a checkbox for "IP Filter Enable" (which is currently unchecked), and two radio buttons for "Include" (selected) and "Exclude" (unselected). Below these controls is a large, empty rectangular list box. To the right of the list box are three buttons: "Add", "Modify", and "Delete". The lower section is for MAC filtering, with a checkbox for "MAC Filter Enable" (unchecked), and radio buttons for "Include" (selected) and "Exclude" (unselected). It also features a large, empty list box and "Add", "Modify", and "Delete" buttons on the right.

フィルターは設定されると、IPフィルターの場合は上部のリストボックスに、MACフィルターの場合は下部のリストボックスにそれぞれ表示されます。

IPフィルターおよびMACフィルターは、eco PDUに接続を試みるクライアントPCのIPアドレスまたはMACアドレスに基づいてアクセスを制御します。IPフィルターおよびMACフィルターは、それぞれ最大5件まで設定可能です。

IPまたはMACフィルターを有効にするには、「IPフィルターを有効にする」および/または「MACフィルターを有効にする」チェックボックスをオンにしてください。

- 「含める」ボタンがチェックされている場合、フィルター範囲内のすべてのアドレスへのアクセスが許可され、その他のアドレスへのアクセスは拒否されます。
- 「除く」ボタンがチェックされている場合、フィルター範囲内のすべてのアドレスへのアクセスが拒否され、その他のアドレスへのアクセスは許可されます。

フィルターの追加

- IPアドレスのフィルター項目は以下の手順で追加してください。
 1. 「追加」ボタンをクリックしてください。そうすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。

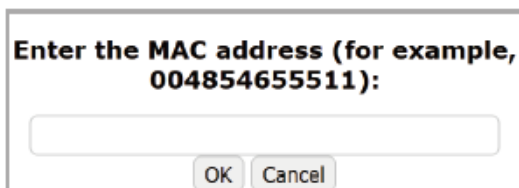


Enter the start IP address (for example, 192.168.0.1):

Enter the end IP address (for example, 192.168.1.255):

OK Cancel

2. ダイアログボックスで開始フィルターアドレス(192.168.0.200など)を指定し、「OK」をクリックしてください。
 3. 1つのIPアドレスをフィルタリングするには、開始IPと同じアドレスを入力してください。アドレスの連続範囲をフィルタリングするには、範囲の終了番号(192.168.0.225など)を入力してください。
 4. IPアドレスを入力したら、「OK」ボタンをクリックしてください。
 5. フィルタリングする追加のIPアドレス範囲に対して、これらの手順を繰り返してください。
- MACアドレスのフィルター項目は以下の手順で追加してください。
 1. 「追加」ボタンをクリックしてください。そうすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。



Enter the MAC address (for example, 004854655511):

OK Cancel

2. ダイアログボックスでMACアドレス(001074670000など)を指定し、「OK」をクリックしてください。
3. フィルタリングする追加のMACアドレスに対して、これらの手順を繰り返してください。

IPフィルターとMACフィルターの競合

IPフィルターとMACフィルターの設定が競合した場合、たとえばIPフィルターでは許可されているが、MACフィルターで除外されているコンピューターがある場合、そのコンピューターのアクセスは拒否されます。つまり、どちらか一方のフィルターで拒否された場合は、もう一方の設定に関係なくアクセスはブロックされます。

フィルターの変更

フィルターを変更するには、IPフィルターまたはMACフィルターのリストボックスから対象のフィルターを選択し、「変更 (Modify)」ボタンをクリックしてください。表示される変更ダイアログボックスは、「追加 (Add)」のダイアログとほぼ同じ構成です。古いアドレスを削除し、新しいアドレスに置き換えるだけで設定を更新できます。

フィルターの削除

フィルターを削除する場合は、IPフィルターまたはMACフィルターのリストボックスから選択し、「削除」をクリックしてください。

認証および操作権限

認証および操作権限の項目では、外部システムを利用したログイン認証およびアクセス権限(認可)の管理を設定できます。

Authentication & Authorization

Auth Type:

RADIUS設定

RADIUSサーバー経由でeco PDUに対する認証および権限設定を行う場合は、以下の手順に従って操作を行ってください。

Authentication & Authorization

Auth Type:

RADIUS Settings

Preferred RADIUS Server IP:

Preferred RADIUS Service Port:

Alternate RADIUS Server IP:

Alternate RADIUS Server Port:

Timeout: sec

Retries:

Shared Secret (at least 6 characters):

1. ドロップダウンメニューを使用して「RADIUS」を選択してください。
2. 優先RADIUSサーバーと代替RADIUSサーバーのIPアドレスおよびポート番号をそれぞれ入力してください。優先サーバーのデフォルトのポート番号は1812です。代替サーバーのデフォルトのポート番号は1645です。

注意:

ここで指定するポート番号が、実際に使用するRADIUSサーバーのポート番号と一致していることを確認してください。

3. 「タイムアウト」フィールドには、eco PDUデバイスがRADIUSサーバーの応答を待機する秒数を設定してください。デフォルトのタイムアウトは3秒です。

4. 「再試行回数」の項目で、RADIUSサーバーへの接続試行に許可される再試行回数を設定してください。デフォルトの再試行回数は3回です。
5. 「共有シークレット」の項目で、eco PDUデバイスとRADIUSサーバー間の認証に使用する文字列を入力してください。
6. RADIUSサーバーで、各ユーザーのエントリーを次のように設定してください。

su/xxxx

「xxxx」の部分は、eco PDUでアカウントを作成した際にユーザーに与えられたユーザーネームに置き換えてください。ユーザーのアクセス権は、eco PDUデバイスに割り当てられたアクセス権と同等です (p.48「デバイス管理」を参照してください)。

注意:

su/userは閲覧のみの権限となります。su/administratorはすべてのeco PDU機能をサポートします。

LDAP設定

eco PDUデバイスをLDAPサーバー経由で認証および認可するには、次の手順に従ってください。

Authentication & Authorization	
Auth Type:	LDAP
LDAP Settings	
Type of LDAP Server:	OpenLDAP
Security:	NONE
IP address/hostname:	
Port:	389
Bind DN:	
Password:	
Login Name Attribute:	
Base DN:	
User entry object class:	
Login Attribute:	
Timeout:	3 sec

1. ドロップダウンメニューを使用して、「LDAP」を選択します。
2. LDAPサーバーの種類とセキュリティオプションを選択し、IPアドレス/ホスト名、ポート番号、Bind DN、パスワード、ログイン名属性、Base DN、ユーザーエントリーオブジェクトクラス、およびログイン属性を入力してください。デフォルトのポート番号は389です。

注意:

ここで指定するポート番号が、実際に使用するLDAPサーバーのポート番号と一致していることを確認してください。

3. 「タイムアウト」の項目で、eco PDUデバイスがLDAPサーバーの応答を待つ時間を秒単位で設定してください。デフォルトのタイムアウトは3秒です。
4. LDAPサーバーで、各ユーザーのエントリーを次のように設定してください。

su/xxxx

「xxxx」の部分は、eco PDUでアカウントを作成した際にユーザーに与えられたユーザーネームに置き換えてください。ユーザーのアクセス権は、eco PDUデバイスに割り当てられたアクセス権と同等です。(p.48「デバイス管理」を参照してください。)

注意:

su/userは閲覧のみの権限となります。su/administratorはすべてのeco PDU機能をサポートします。

TACACS+設定

eco PDUデバイスをTACACS+サーバーを通じて認証および認可するには、次の手順に従ってください。

Authentication & Authorization	
Auth Type:	TACACS+ <input type="text"/>
TACACS PLUS Settings	
Preferred TACACS PLUS Server IP:	<input type="text"/>
Preferred TACACS PLUS Service Port:	49 <input type="text"/>
Alternate TACACS PLUS Server IP:	<input type="text"/>
Alternate TACACS PLUS Server Port:	49 <input type="text"/>
Timeout:	3 <input type="text"/> sec
Retries:	3 <input type="text"/>
Shared Secret (at least 6 characters):	<input type="text"/>

1. ドロップダウンメニューを使用して「TACACS+」を選択します。
2. 優先および代替TACACS+サーバーのIPアドレスとサービスポート番号を入力してください。優先サーバーのデフォルトポート番号は49、代替サーバーのデフォルトポート番号も49です。

注意:

ここで指定するポート番号が、実際に使用するTACACS+サーバーのポート番号と一致していることを確認してください。

3. 「タイムアウト」の項目で、eco PDUデバイスがTACACS+サーバーの応答を待つ時間を秒単位で設定してください。デフォルトのタイムアウトは3秒です。
4. 「再試行回数」の項目で、TACACS+サーバーへの接続試行に許可される再試行回数を設定してください。デフォルトの再試行回数は3回です。
5. 「共有シークレット」の項目で、eco PDUデバイスとTACACS+サーバー間の認証に使用する文字列を入力してください。
6. TACACS+サーバーで、各ユーザーのエントリを次のように設定してください。

su/xxxx

「xxxx」の部分は、eco PDUでアカウントを作成した際にユーザーに与えられたユーザーネームに置き換えてください。ユーザーのアクセス権は、eco PDUデバイスに割り当てられたアクセス権と同等です。(p.48「デバイス管理」を参照してください。)

注意:

su/userは閲覧のみの権限となります。su/administratorはすべてのeco PDU機能をサポートします。

プライベート証明書

SSLなどのセキュア接続でログインする際には、署名付き証明書を用いて、ユーザーが正しいサイトにアクセスしていることが確認されます。セキュリティをさらに強化するために、「プライベート証明書」セクションでは、ATENのデフォルト証明書ではなく、ユーザー自身の秘密鍵と署名済み証明書を使用することができます。



The image shows a web form titled "Private Certificate". It contains two input fields: "Private Key:" and "Certificate:", each followed by a "Select File" button. At the bottom right of the form is an "Upload" button.

プライベート証明書を設定する方法には、自己署名証明書を生成する方法と、サードパーティの認証局(CA)が署名した証明書をインポートする方法の2つがあります。

自己署名証明書の生成

自己署名証明書を作成したい場合は、無料のユーティリティであるopenssl.exeをウェブからダウンロードできます。

CA署名済みSSLサーバー証明書の取得

より確実なセキュリティのために、サードパーティの認証局(CA)が署名した証明書を使用することを推奨します。サードパーティの署名付き証明書を取得するには、CA(認証局)のウェブサイトに移動してSSL証明書を申請してください。CAから証明書とプライベート暗号キーが送られてきたら、お使いのコンピューターの適当なフォルダーに保存してください。

プライベート証明書のインポート

プライベート証明書をインポートするには、次の手順に従ってください。

1. 「プライベートキー」の右にある「参照」ボタンをクリックして、プライベート暗号キーのファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
2. 「証明書」の右にある「参照」ボタンをクリックして、証明書のファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
3. 「アップロード」ボタンをクリックして操作を完了してください。

注意:

1. 「デフォルトのリストア」をクリックすると、デバイスはデフォルトのATEN証明書を使用するように戻ります。
2. プライベート暗号キーおよび署名済証明書は同時にインポートしてください。

この画面で項目への入力・設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックしてください。

ワイヤレスネットワーク

「ワイヤレスネットワーク」ページでは、eco PDUのWi-Fi機能を有効にすることができます。(日本市場では非サポート機能となります)

The screenshot shows the ATEN PGB308G Web UI. The top navigation bar includes 'Energy', 'User', 'Log', 'Setup' (selected), and 'PDU'. The main content area is titled 'Wireless Network' and contains the following configuration options:

- Enable Wi-Fi
- Status: No device found (with a 'Scan' button)
- SSID: [Text Input Field]
- Security: None (with a dropdown menu)
- IPv4 Configuration**
 - Obtain IP address automatically [DHCP]
 - Set IP address manually [Fixed IP]
 - IP Address: [Text Input Field]
 - Subnet Mask: [Text Input Field]
 - Default Gateway: [Text Input Field]
 - Obtain DNS server address automatically
 - Set DNS server address manually
 - Preferred DNS Server: [Text Input Field]
 - Alternate DNS Server: [Text Input Field]

項目	説明
Wi-Fiを有効にする	チェックを入れると、eco PDUのWi-Fi機能を有効にします。
スキャン	Wi-Fiアダプターをeco PDUのUSB Type-Aポートに接続してから、「スキャン」をクリックすると、利用可能なワイヤレスネットワークをスキャンします。
SSID	接続したいワイヤレスネットワークのSSIDを手動で入力してください。
セキュリティ	ドロップダウンメニューを使用してワイヤレスネットワークのセキュリティタイプを選択し、パスワードを手動で入力してください。

IPv4設定

eco PDUのIPv4アドレスおよびDNSアドレスは、DHCPによる自動割り当て、または固定IPアドレスの手動設定のいずれかで指定できます

IPv4 Configuration

Obtain IP address automatically [DHCP]

Set IP address manually [Fixed IP]

IP Address:

Subnet Mask:

Default Gateway:

Obtain DNS server address automatically

Set DNS server address manually

Preferred DNS Server:

Alternate DNS Server:

- DHCPサーバーからIPアドレスを取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンを選択してください(デフォルト設定)。
- IPアドレスを指定するには、「IPアドレスを手動で設定する」のラジオボタンを選択し、ネットワークに適した値をIPアドレスに入力してください。
- DNSサーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンを選択してください。
- DNSサーバーのアドレスを手動で割り当てる場合は、「DNSサーバーアドレスの手動設定」のラジオボタンを選択し、お使いのネットワークの優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのIPアドレスをそれぞれ入力してください。

注意:

1. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択した場合、本体が給電された時にDHCPサーバーからIPアドレスの割り当てを待機します。ただし、待機開始から1分以内にIPアドレスを取得できなかった場合は、自動的にデフォルトのIPアドレス(192.168.0.60)にて起動します。
 2. デバイスがDHCPを使用してネットワークアドレスを割り当てるネットワーク上にあり、そのIPアドレスを確認する必要がある場合は、p.123「IPアドレスの設定」を参照してください。
 3. 代替DNSサーバーのアドレス設定は任意です。
-

IPv6設定

eco PDUのIPv6アドレスおよびDNSアドレスは、DHCPによる自動割り当て、または固定IPアドレスの手動設定のいずれかで指定できます

IPv6 Configuration

Enable autoconfiguration
 Set configuration manually

IP Address:

Static Prefix Length:

Default Gateway:

Use DHCPv6 to obtain DNS Server Addresses
 Set DNS server address manually

Preferred DNS Server:

Alternate DNS Server:

- 動的IPアドレスを割り当てる場合は、「自動設定を有効にする」のラジオボタンを選択してください(これはデフォルト設定です)。
- 固定IPアドレスを指定するには、「手動で設定する」のラジオボタンを選択し、ネットワークに適した値をIPアドレスに入力してください。
- DNSサーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「DHCPv6を使用し

てDNSサーバーアドレスを取得する」のラジオボタンを選択してください。

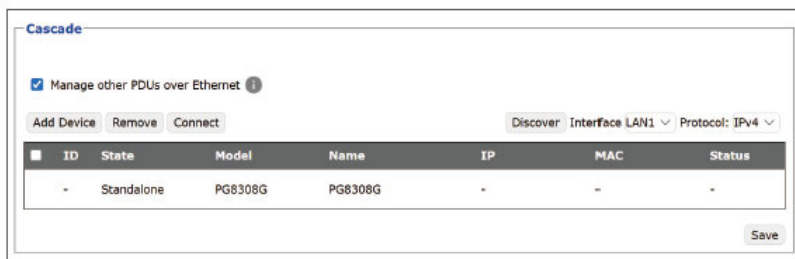
- DNSサーバーのアドレスを手動で割り当てる場合は、「DNSサーバーアドレスの手動設定」のラジオボタンを選択し、お使いのネットワークの優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのIPアドレスをそれぞれ入力してください。

注意:

1. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択した場合、本体が給電された時にDHCPサーバーからIPアドレスの割り当てを待機します。ただし、待機開始から1分以内にIPアドレスを取得できなかった場合は、自動的にデフォルトのIPアドレスにて起動します。
 2. デバイスがDHCPを使用してネットワークアドレスを割り当てるネットワーク上にあり、そのIPアドレスを確認する必要がある場合は、p.123「IPアドレスの設定」を参照してください。
 3. 代替DNSサーバーのアドレス設定は任意です。
-

カスケード

「カスケード」ページでは、設置済みのeco PDUを一括管理およびカスケード接続することができます。設定を開始するには、「他のPDUをEthernet経由で管理する」のチェックボックスにチェックを入れてください。

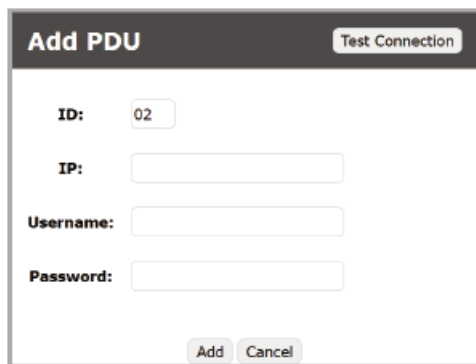


ID	State	Model	Name	IP	MAC	Status
-	Standalone	PG8308G	PG8308G	-	-	-

PDUの追加

カスケードPDUを追加するには、次の手順に従ってください。

1. 「**デバイスの追加**」をクリックします。そうすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。



2. ダイアログボックスにID、IPアドレス、ユーザー名、およびパスワードを指定し、「**追加**」をクリックします。
3. (オプション)「追加」をクリックする前に、カスケードするeco PDU間の接続をテストすることができます。

PDUの削除

カスケードされたPDUを削除するには、次の手順に従ってください。

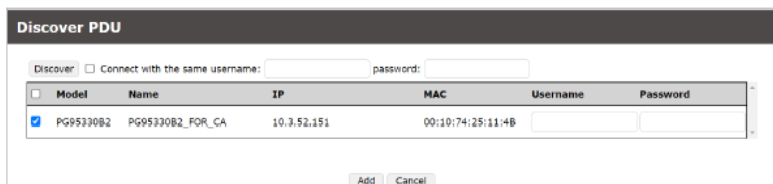
1. 削除したいeco PDUのID列の横にあるチェックボックスをオンにします。
2. 「**削除**」をクリックします。

PDUの接続

カスケードされたPDUに接続するには、次の手順に従ってください。

1. 接続したいeco PDUのID列の横にあるチェックボックスをオンにします。
2. 「**接続**」をクリックします。

検出



Discover Connect with the same username: password:

<input type="checkbox"/>	Model	Name	IP	MAC	Username	Password
<input checked="" type="checkbox"/>	PG95330B2	PG95330B2_FOR_CA	10.7.52.151	00:10:74:25:11:4B	<input type="text"/>	<input type="text"/>

設置済みのカスケード接続されたPDUを検出するには、以下の手順を実行してください。

1. 「**検出**」の横にあるチェックボックスをオンにし、ユーザー名とパスワード情報を入力します。
2. 「**検出**」をクリックします。

ルール

「ルール」ページでは、設置済みのeco PDUに対して各種ルールの設定および管理を行うことができます。

新規ルールの追加

新しいルールを追加するには、次の手順に従ってください。

The image shows three sequential screenshots of the 'Rules' management interface. The first screenshot shows an 'Add' button highlighted with a red circle and the number 1. The second screenshot shows the 'Rule1' configuration expanded, with a 'Detail' button highlighted by a red circle and the number 2. The third screenshot shows the rule configuration with two tables: 'Station' and 'Sequence'. The 'Station' table has one row with '1' in the 'Station' column, 'Device' in the 'Source' column, '1' in the 'Source Index' column, 'Current Over' in the 'Event' column, and '0' in the 'Fluctuation' column. The 'Sequence' table has one row with '1' in the 'Sequence' column, '1' in the 'Station' column, 'Device' in the 'Target' column, '1' in the 'Target Index' column, and 'Turn Off' in the 'Action' column. Both tables have 'Add' buttons highlighted with red circles and numbers 2a and 2b. At the bottom of the third screenshot, an 'Add' button is highlighted with a red circle and the number 4, and a 'Save' button is highlighted with a red circle and the number 3.

1. 「追加」ボタンをクリックして続行します。
2. 「詳細」ボタンをクリックして、ルールを指定するためのフィールドを展開します。
 - a) さらにステーションを追加するには、「追加」をクリックします。
 - b) さらにシーケンスを追加するには、「追加」をクリックします。
3. 「保存」ボタンをクリックして終了します。
4. さらにルールを追加するには、前述の手順を繰り返します。

ルールの編集

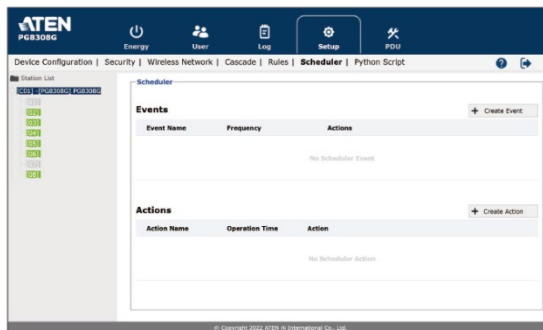
要素を使用してルールを編集できます。

The screenshot shows the 'Rules' configuration page. At the top, there is a header 'Rules' and a sub-header 'Enable Name'. Below this, there is a table for 'Rule1' with columns: Station, Source, Source Index, Event, and Delete. The table contains three rows, each representing a rule element. Below the table, there is an 'Add' button. At the bottom, there is a 'Save' button. Red callouts 1 through 6 point to these specific elements.

番号	項目	説明
1	有効にする	チェックを入れると、eco PDU用に設定したルールを有効にします。
2	名前	ルールの名前を入力してください。
3	詳細	クリックすると、ルールを設定するためのオプションを表示します。
4	削除	ゴミ箱アイコンをクリックすると、ルールを削除します。
5	追加	クリックすると、さらにステーションソース、シーケンスステーション、またはルールを追加します。
6	保存	クリックすると、今行った変更を保存します。

スケジューラー

「スケジューラー」ページを使用すると、指定した曜日や時間でeco PDUの電源オン／オフや再起動のスケジュール設定を行うことができます。



イベントの作成

イベントを作成するには、次の手順に従ってください。

1. 「セットアップ」>「スケジューラー」に移動します。
2. 1つ以上の電源オン、電源オフ、および/または再起動アクションを作成します。これらのアクションは、イベントを設定する際に選択可能です。
 - a) 「+アクションの作成」をクリックします。



- b) ポップアップ画面でアクションに名前を付け、ドロップダウンリストを使用してアクションとターゲットアウトレットを設定します。

← **Create Action**

Action Name

Action

outlets

c) 「保存」をクリックします。アクションがリストに追加されます。

Actions			+ Create Action
Action Name	Operation Time	Action	
Working days power on	Immediately	Power ON outlet 01,02,03	
Working day power off	Immediately	Power OFF outlet 01,02,03	

3. イベントを作成します。

- a) 「+イベントの作成」をクリックします。
- b) 「イベントの作成」ページでイベントに名前を付け、必要に応じてスケジュールとアクションを設定します。

← **Create Event**

Event Name

Scheduled Time :

Actions

Action Name	Operation Time	Action

c) 「保存」をクリックします。イベントがイベントリストに追加されます。トグルボタンを使用して、作成したイベントを有効/無効にします。

Scheduler

Events

+ Create Event

Event Name	Frequency	Time	Days	Actions	
Daily Power On	Weekly	08:00	Mon,Tue,Wed,Thu,Fri	Working days power on	<input checked="" type="checkbox"/>
Working days power off	Weekly	19:00	Mon,Tue,Wed,Thu,Fri	Working day power off	<input checked="" type="checkbox"/>

Actions

+ Create Action

Action Name	Operation Time	Action
Working days power on	Immediately	Power ON outlet 01,02,03
Working day power off	Immediately	Power OFF outlet 01,02,03

Pythonスクリプト

Pythonスクリプト機能を使用すると、ATENのPythonライブラリと連携したスクリプトにより、ポートや接続センサーの状態を取得したり、アウトレットを制御したりすることができます。

新規スクリプトの追加

新しいスクリプトを追加するには、次の手順に従ってください。

The screenshot shows the 'Python Script' management interface. At the top, there is a '+ Create a New Script' button (Step 1). Below it is a table with columns 'Name' and 'State'. A red arrow points from the button to a 'Create a New Script' dialog box. The dialog box has a 'Script Name' input field (Step 2), a large 'Source Code' text area (Step 3), and 'Cancel' and 'Save' buttons at the bottom (Step 4).

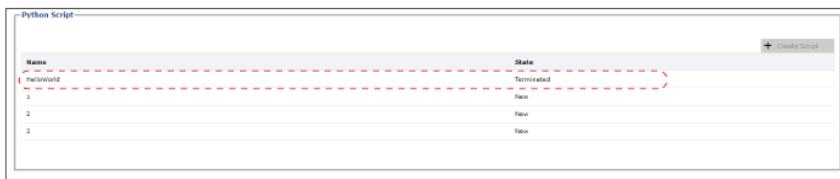
1. 「新規スクリプトの作成」ボタンをクリックします。
2. スクリプト名を入力します。
3. ソースコードを入力します。
4. スクリプトを保存します。

注意:

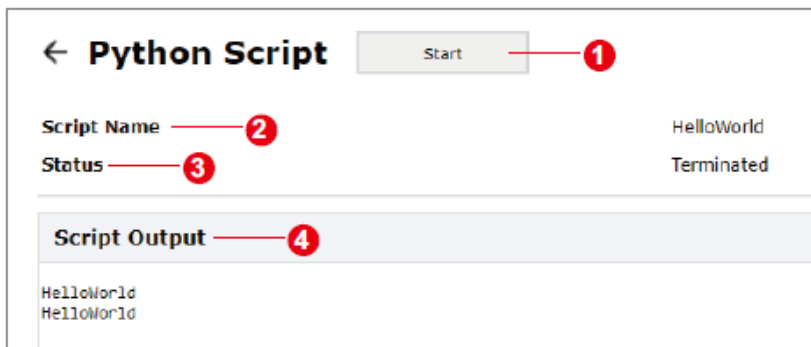
最大4つのスクリプトを作成できます。

スクリプト管理

スクリプトリストから、実行したいスクリプトをクリックしてスクリプトに入ります。



スクリプトの詳細ページでは、次の機能と情報を提供します。



番号	項目	説明
1	開始	ボタンをクリックすると、スクリプトを実行します。
2	スクリプト名	このスクリプトの名前を表示します。
3	ステータス	このスクリプトのステータスを表示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ 新規:一度も実行されたことのない新しいスクリプトです。◆ 終了:スクリプトが正常に実行され、その返された結果がスクリプト出力フィールドに表示されます。◆ 実行中:スクリプトが実行中です。
4	スクリプト出力	各操作の成功または失敗を詳述するメッセージを表示します。

ATEN Pythonライブラリ

Pythonスクリプトの作成には次が使用できます。

アウトレット情報の取得

アウトレットの電流、電圧、電力、周波数、またはステータスに関する情報を取得します。

- ◆ 構文

```
atenPythonLib.getOutletInfo(port, target, station=1)
```

- ◆ 例

1. ステーション1のアウトレット1のステータスを取得するには:

```
atenPythonLib.getOutletInfo(1, "status", 1)
```

2. ステーション1アウトレット1の電流情報を取得するには:

```
atenPythonLib.getOutletInfo(1, "curr")
```

インレット情報の取得

インレットの電流、電圧、電力、または周波数に関する情報を取得します。

- ◆ 構文

```
atenPythonLib.getInletInfo(port, target, station=1)
```

- ◆ 例

1. ステーション1のインレット1の電力情報を取得するには:

```
atenPythonLib.getInletInfo(1, "pow", 1)
```

2. ステーション1のインレット1の電流情報を取得するには:

```
atenPythonLib.getInletInfo(1, "curr")
```

バンク情報の取得

バンクの電流、電圧、電力、または周波数に関する情報を取得します。

- 構文

```
atenPythonLib.getBankInfo(port, target, station=1)
```

- 例

1. ステーション1のバンク1の電力情報を取得するには:

```
atenPythonLib.getBankInfo(1, "pow")
```

2. ステーション1のバンク1の電流情報を取得するには:

```
atenPythonLib.getBankInfo(1, "curr")
```

アウトレットの状態変更

アウトレットをオンまたはオフにします。

- 構文

```
atenPythonLib.changeOutletStatus(port, action, station=1)
```

- 例

1. ステーション1のアウトレット1をオンにするには:

```
atenPythonLib.changeOutletStatus(1, "on")
```

2. ステーション1のアウトレット1をオフにするには:

```
atenPythonLib.changeOutletStatus(1, "off")
```

センサー情報の取得

接続されたセンサーの温度、湿度、圧力に関する情報を取得します。

- 構文

```
atenPythonLib.getSensorInfo(port, target, extPort=1 ,  
station=1)
```

- 例

1. ステーション1のセンサーポートに接続されたセンサーの温度情報を取得するには:

```
atenPythonLib.getSensorInfo(1, "temp", 1)
```

2. ステーション1のセンサーポートに接続されたセンサーの湿度情報を取得するには:

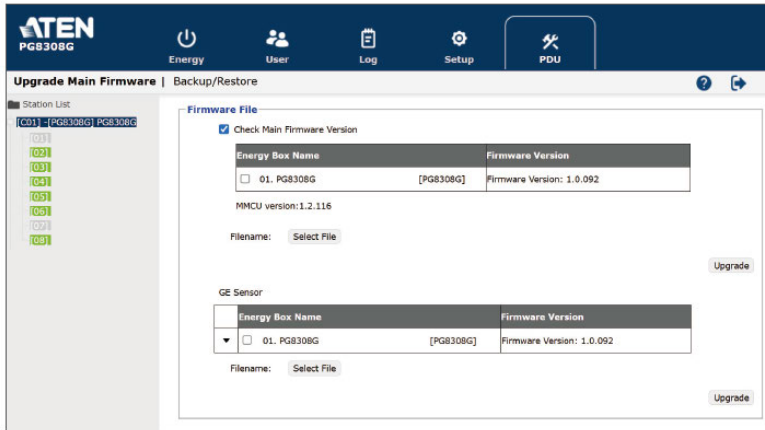
```
atenPythonLib.changeOutletStatus(1, "hum", 2)
```

第9章

PDU

概要

PDU機能では、eco PDUのファームウェアのアップグレードや、設定情報のバックアップおよび復元を行うことができます。



メインファームウェアのアップグレード

「メインファームウェアのアップグレード」ページは、eco PDUのファームウェアをアップグレードするために使用されます。「メインファームウェアのアップグレード」タブをクリックすると、以下のようなファームウェアのファイルメニューのページが表示されます。

The screenshot shows a web interface titled "Firmware File". At the top, there is a checked checkbox labeled "Check Main Firmware Version". Below this is a table with two columns: "Energy Box Name" and "Firmware Version". The table contains one row: "01. PG8308G [PG8308G]" and "Firmware Version: 1.0.092". Below the table, it says "MMCJ version: 1.2.116". There is a "Filename:" label followed by a "Select File" button. To the right of this section is an "Upgrade" button. Below this is a "GE Sensor" section, which also has a table with "Energy Box Name" and "Firmware Version" columns, containing the same row as above. It also has a "Filename:" label with a "Select File" button and an "Upgrade" button to its right.

このパネルに表示されている項目の説明は、以下の表に示されています。

項目	説明
メインファームウェアバージョンの確認	「メインファームウェアのバージョンを確認する」を有効にすると、eco PDUの現在のファームウェアバージョンが、アップグレード用ファイルのバージョンと比較されます。現在のバージョンが同じまたはそれ以上の場合、ポップアップメッセージで通知され、アップグレード処理は自動的に中止されます。
エネルギーボックス名	すべてのeco PDUデバイスを一覧表示します。アップグレードしたいデバイスの子チェックボックスを選択します。
F/Wバージョン	eco PDUの現在のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル名	新しいファームウェアバージョンが公開されると、弊社のWebサイトに掲載され、ユーザーがダウンロードできるようになります。ダウンロードしたアップグレードファイルを選択するには、「参照」ボタンをクリックしてください。
アップグレード	このボタンをクリックすると、選択したデバイスのファームウェアをアップグレードします。
GEセンサー	eco PDUのGEセンサーのファームウェアに関する情報を表示します。

ファームウェアのアップグレード

本体ファームウェア/対応センサーのファームウェアをアップグレードするには、前のページのスクリーンショットを参照し、以下の手順を実行してください。

1. 当社のウェブサイトアクセスし、ファームウェアアップグレードファイルをコンピュータにダウンロードします。
2. 「参照」ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアアップグレードファイルを選択します。
3. 「アップグレード」をクリックして、アップグレード手順を開始します。
 - 「メインファームウェアのバージョンを確認する」を有効にしている場合、現在のバージョンがアップグレード用ファイルバージョンと比較されません。現在のバージョンが同じまたはそれ以上の場合は、ポップアップメッセージが表示され、アップグレード処理は中止されます。
 - 「メインファームウェアバージョンの確認」を有効にしなかった場合、比較せずにアップグレードファイルがインストールされます。
 - アップグレードが正常に完了すると、本体が自動的に再起動します。
4. 再度ログインし、ファームウェアのバージョンが新しいものであるか確認してください。

ファームウェアアップグレードのリカバリー

eco PDUのファームウェアアップグレード手順が失敗し、デバイスが使用できなくなった場合、次のファームウェアアップグレードリカバリー手順によって問題が解決できます。

1. デバイスの電源を切ってください。
2. リセットボタンを押し続けます(p.9参照)。
3. リセットボタンを押したまま、製品本体の電源を入れてください。

これにより、製品本体は工場出荷時にインストールされていた元のメインファームウェアバージョンを使用します。本体が動作するようになったら、再度ファームウェアのアップグレードを試みることができます。

バックアップ/リストア

メニューバーの「バックアップ/リストア」を選択すると、スイッチの設定とユーザープロフィール情報をバックアップすることができます。

Station List

Energy Box Name	Filename
<input type="checkbox"/> 01. PG8308G	[PG8308G] <small>Please select a file to restore ▼</small>

Backup

Password:

Restore

Auto Mapping

Password:

Filename:

ステーションリスト

ステーションリストにはeco PDUのみが表示されます。

Station List

Energy Box Name	Filename
<input type="checkbox"/> 01. PG8308G	[PG8308G] <small>Please select a file to restore ▼</small>

バックアップ

デバイスの設定をバックアップするには、以下の手順を実行してください。

Backup

Password:

1. 「パスワード」フィールドに、バックアップする設定ファイルのパスワード

ドを入力します。

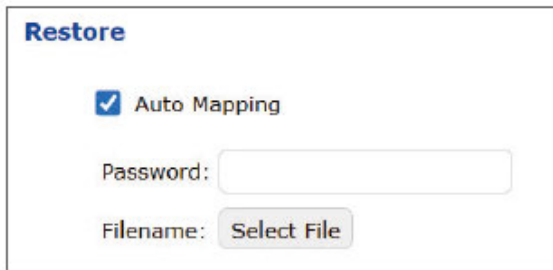
注意:

パスワードの入力は任意です。パスワードを入力する場合は、ファイルを復元できるようにするため、メモを取っておいてください。

2. 「保存」をクリックしてください。
3. ブラウザからファイルの保存方法を問うダイアログが表示された場合は、「ディスクに保存」を選択し、お使いのコンピューターのドライブの適当な場所に保存してください。

リストア

過去にバックアップした情報をリストアする場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。



1. 「参照」をクリックし、ファイルを探して選択します。

注意:

ファイル名を変更した場合は、新しい名前のままにしておくことができます。元の名前に変更する必要はありません。

2. 「パスワード」の欄で、ファイルの保存に使用した時と同じパスワードを入力してください。

注意:

バックアップファイルの作成時にパスワードを設定しなかった場合は、この手順を省略できます。

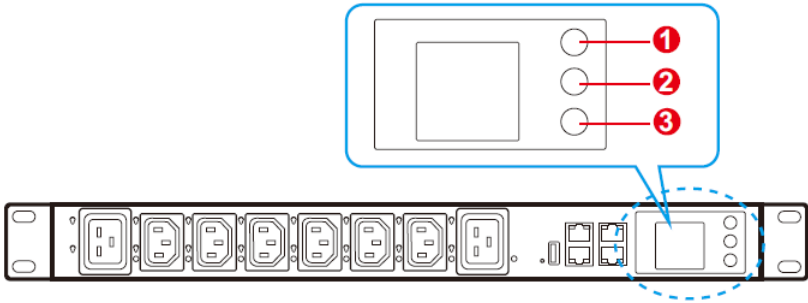
3. リストアしたい項目にチェックを入れてください(複数選択可)。
4. 「リストア」ボタンをクリックしてください。

ファイルがリストアされると、手順が正常に完了したことを通知するメッセージが表示されます。

第10章 LCDメニュー

eco PDUの表示セクション

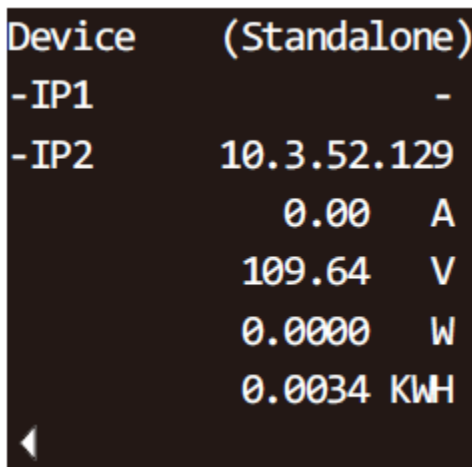
ATEN eco PDUの表示部(リードアウトセクション)には、設定内容を確認できるLCDディスプレイと、以下の機能を持つ3つのボタンが搭載されています。



番号	ボタン	説明
1	MENU /BACK	ボタンを押すと、前のページに戻ります。 ボタンを2秒間押し続けると、メインメニューに戻ります。
2	SELECT	ボタンを押すと、メニュー項目を順に表示します。
3	ENTER	<ul style="list-style-type: none">ホーム画面で: ボタンを押すと、メインメニューに入ります。メインメニュー画面で: ボタンを押すと、選択した項目のページに入り、詳細情報を確認できます。

ホーム画面

本体に電源が入ると、ホーム画面がLCDディスプレイに表示されます。



項目	説明
デバイス	ユニットの状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none">• スタンドアロン ユニットは他のPGシリーズPDUに接続されていません。• プライマリー ユニットはカスケードデバイスにおけるマスターユニットです。• セカンダリー ユニットはカスケードデバイスにおけるスレーブユニットです。
IP1 / IP2	LAN 1 / LAN 2のIPアドレスを示します。
A / V / W / KWH	ユニットの電流(A)、電圧(V)、ワット数(W)、および電力消費量(KWH)に関する情報を提供します。

「ENTER」ボタンを押すと、メインメニューページに入ります。メインメニューにリストされている機能に関する詳細情報と操作については、以下のセクションを参照してください。

アラート

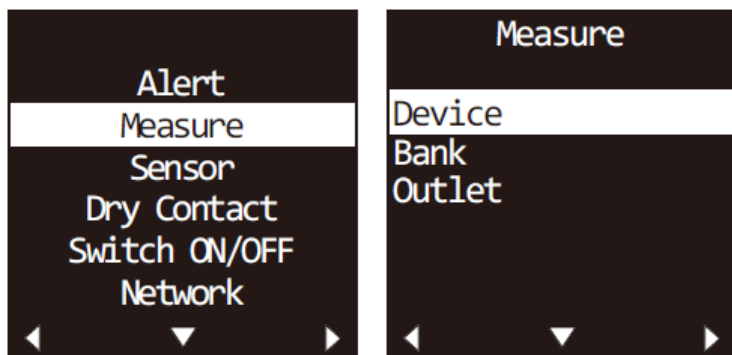
メインメニュー画面で「アラート」を選択し、「ENTER」ボタンを押すと、そのページに入り、アラート設定を確認します。すべてのeco PDUモデルはアラート機能をサポートしています。



「アラートなし」は、まだ、しきい値が設定されていないことを意味します。アラートを設定するには、サポートされているインターネットブラウザ経由でeco PDUにアクセスし、ユーザー名とパスワードでログインし、「エネルギー」>「接続」に移動して、アラームを作動させる「しきい値」を設定します。

測定

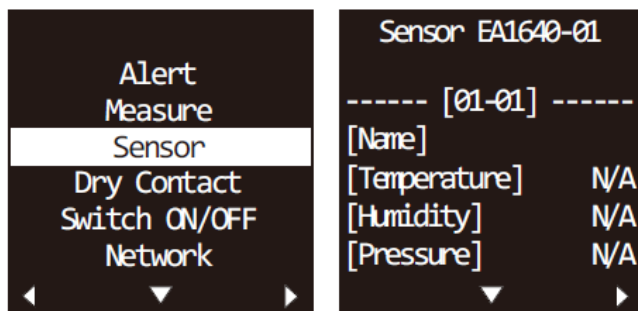
ユーザーはeco PDUに関する以下の情報を確認できます。



項目	説明
デバイス	電流(A)、電圧(V)、ワット数(W)、および電力消費量(KWH)を示します。
バンク	各バンクのブレーカーの状態、負荷、電流(A)、電圧(V)、ワット数(W)、および電力消費量(KWH)を示します。
アウトレット	アウトレットの状態がオンかどうか、負荷、電流(A)、電圧(V)、ワット数(W)、および各アウトレットの電力消費量(KWH)を表示します。

センサー

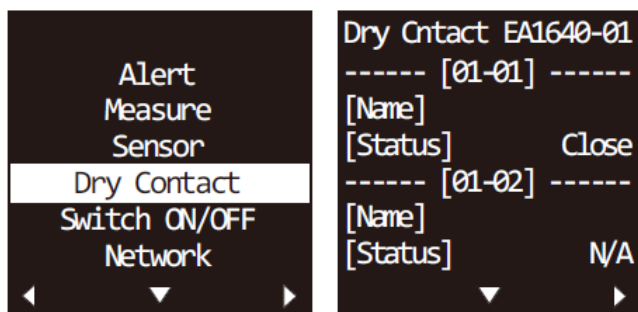
メインメニュー画面で「センサー」を選択すると、そのページに入り、セットアップされたセンサーのしきい値設定を確認できます。



サポートされているインターネットブラウザ経由でeco PDUIにアクセスし、「エネルギー」>「接続」に移動して、**センサーの状態**を見つけたら設定を行います。

ドライコンタクト

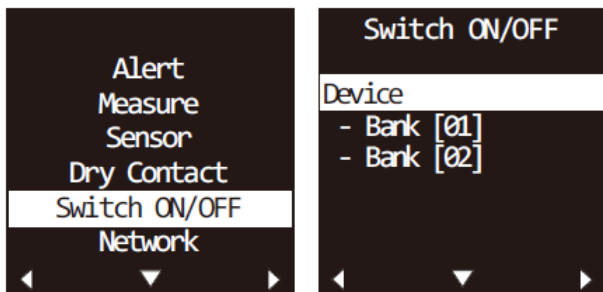
ドライコンタクトとは、セットアップされたセンサーEA1640に接続されたセンサーの状態を示します。EA1640に接続されたセンサーの設定方法については、p.37「センサー設定」を参照してください。



項目	説明
名前	この接続されたセンサーに設定した名前です。詳細はp.37「名前」を参照してください。
状態	接続されたセンサーの状態です。

ON/OFFの切り替え

ON/OFFの切り替えは、ユーザーがeco PDUの電源状態を変更するための機能です。

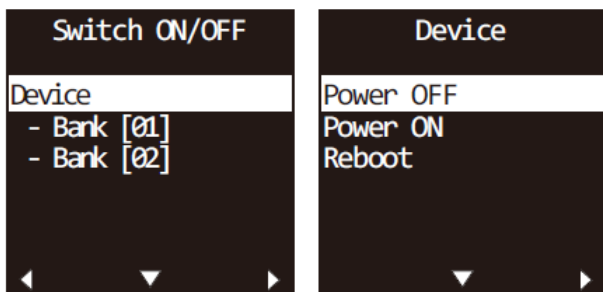


項目	説明
ON/OFFの切り替え	eco PDUのユニット/バンク/アウトレットの電源状態を変更します。

メインメニュー画面で「ON/OFFの切り替え」を選択し「ENTER」ボタンを押すと、詳細ページに入ります。型番によっては配下のサブページに入ることもできます。

デバイス

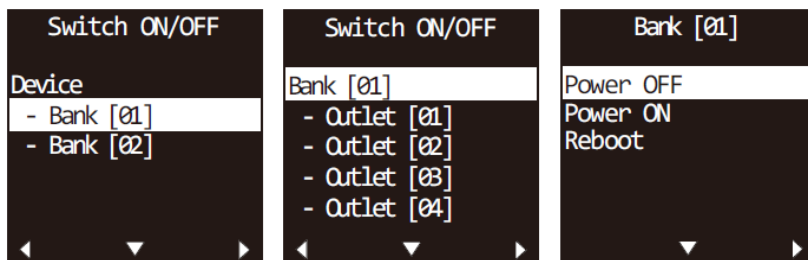
「ENTER」ボタンを押すと、**デバイス**の詳細ページに入ります。「SELECT」を押してアクションを選択し、「ENTER」を押すと、選択したアクションを実行します。



項目	説明
電源オン	ユニットをオンにします。
電源オフ	ユニットをオフにします。
再起動	ユニットを再起動します。

バンク

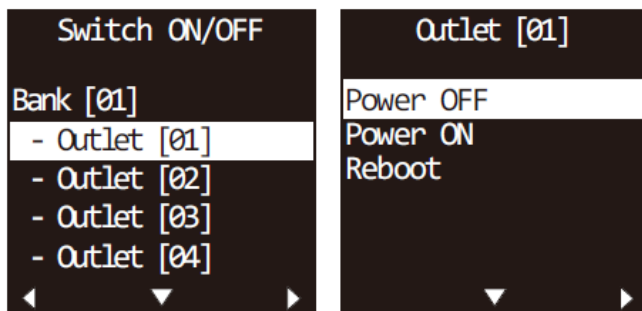
バンク選択リストで「SELECT」ボタンを押して確認したいバンクを選択し、「ENTER」ボタンを押すと、以下のアクションを選択します。



項目	説明
電源オン	バンクをオンにします。
電源オフ	バンクをオフにします。
再起動	バンクを再起動します。

アウトレット

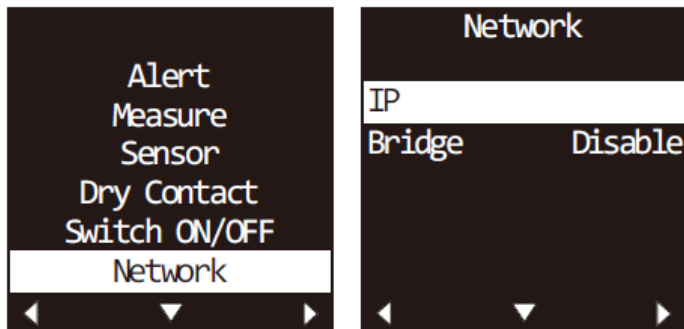
「SELECT」ボタンを押して確認するアウトレットを選択し、「ENTER」ボタンを押すと、アウトレットの詳細ページに入り、実行するアクションを選択します。



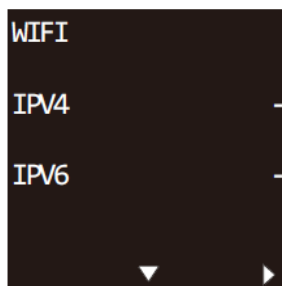
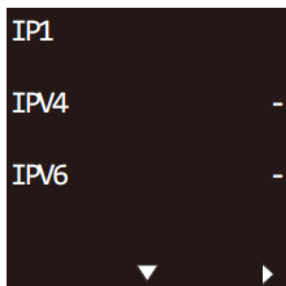
項目	説明
電源オン	アウトレットをオンにします。
電源オフ	アウトレットをオフにします。
再起動	アウトレットを再起動します。

ネットワーク

「ネットワーク」ページには、「IP」と「ブリッジ」の2つのサブページがあります。

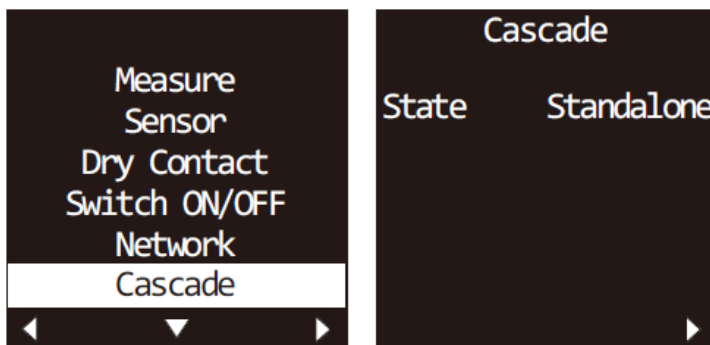


項目	説明
IP	LAN1、LAN2、およびWi-FiのIPv4またはIPv6を設定します。
ブリッジ	eco PDUをカスケードまたはブリッジするには、「ブリッジ」ページに入り、事前に設定を手動で構成する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> 有効： スレーブユニットの場合、ブリッジ機能を有効にします。 無効： マスターユニットの場合、ブリッジ機能を無効にしてください。



カスケード

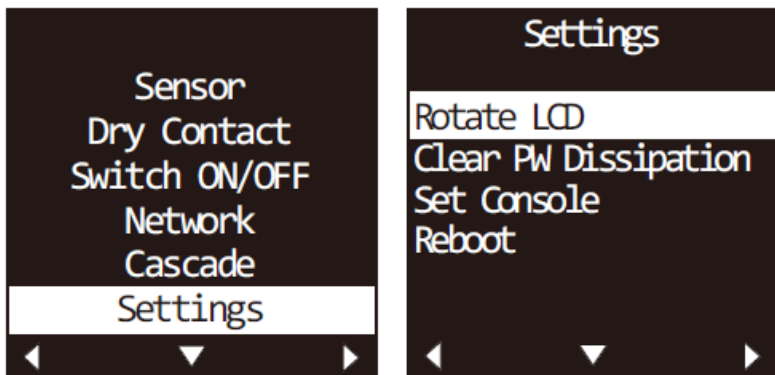
「カスケード」ページは、以下に示すようにeco PDUの状態を表示します。



項目	説明
状態	状態は、このeco PDUがどのモードにあるかを示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ スタンドアロン: ユニットは他のPGシリーズPDUに接続されていません。◆ プライマリー: ユニットはカスケードデバイスにおけるマスターユニットです。◆ セカンダリー: ユニットはカスケードデバイスにおけるスレーブユニットです。
ID	IDは、カスケードデバイスにおけるユニットの順序を示します。この項目は、ユニットの状態がプライマリーまたはセカンダリーの場合にのみ利用可能です。

設定

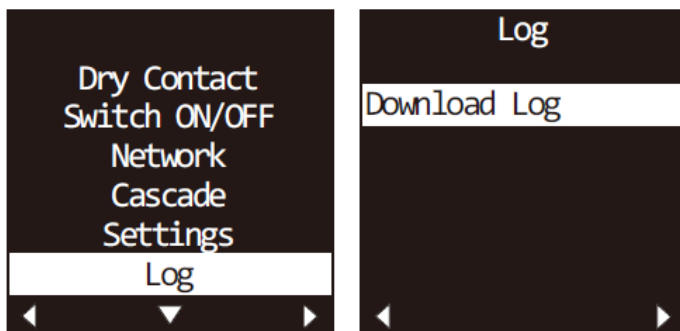
「設定」ページでは、以下の設定が行えます。



項目	説明
LCD回転	LCDを回転させる角度を設定するページに入ります。
消費電力を消去	詳細ページに入って「消去」を選択すると、消費電力情報を消去します。
コンソール設定	コンソールモードを、RS-232、RS-485、およびPONの中から選択します。 詳細はシリアル設定を参照してください。
再起動	eco PDUを再起動します。

ログ

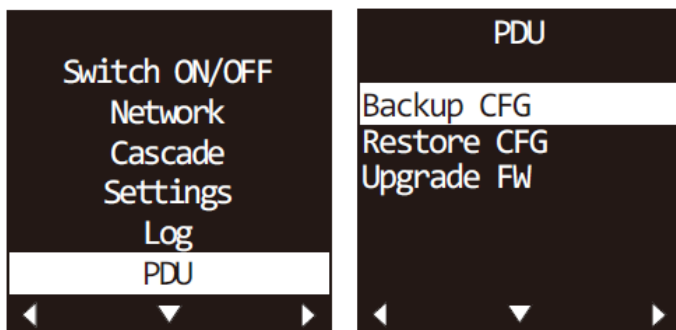
eco PDUのイベントログをダウンロードするには、あらかじめUSB Type-AポートにUSBドライブを挿入してください。詳細はp.8「USB Type-Aポート」を参照してください。



項目	説明
ログのダウンロード	このユニットのイベントログをダウンロードし、接続されたUSBドライブにログファイルを保存します。 ログファイルは暗号化されており、トラブルシューティングの目的でのみ使用されます。

PDU

eco PDUの設定のバックアップやリストア、またはファームウェアのアップグレードを行うには、あらかじめUSB Type-AポートにUSBドライブを挿入してください。詳細は、p.8「USB Type-Aポート」を参照してください。



項目	説明
CFGのバックアップ	eco PDUの設定をバックアップし、接続されたUSBドライブに保存します。
CFGのリストア	接続されたUSBドライブに保存されたファイルをインポートして、eco PDUの設定を復元します。
FWのアップグレード	接続されたUSBドライブに保存されたファイルを使用して、eco PDUのファームウェアをアップグレードします。

第11章

Telnetコマンド

リモートターミナル操作

ATEN eco PDUでは、Telnetインターフェースを使用してコンピューターからリモートログインが可能です。これにより、PCや制御機器を通じて、システムの制御を行うことができます。

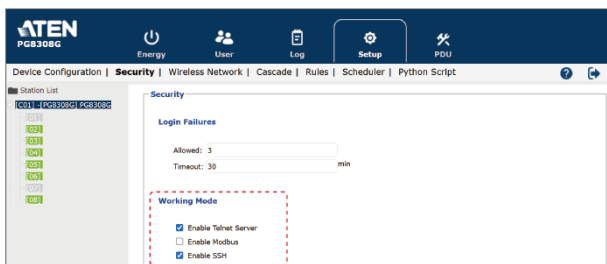
Telnet

Telnetとは、ネットワーク経由でデバイスに接続し、テキストベースで管理・操作を行うための通信プロトコルです。Telnetでは、eco PDUのWeb GUI(グラフィカルユーザーインターフェース)で提供されている一部の管理機能も利用できます。

Telnetは、最新のファームウェアがインストールされているイーサネット対応のeco PDUで利用可能です。ecoPDUIには、同一ネットワークに接続された任意のコンピューターからTelnet経由でログインできます。

セットアップ

eco PDUのウェブGUIにログインし、**セットアップ**タブに移動してメニューバーから**セキュリティ**をクリックします。**動作モード**で、「Telnetサーバーを有効にする」にチェックを入れ、ページ下部の「**保存**」をクリックします。



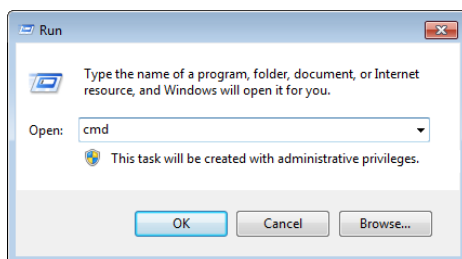
注意:

「Telnetサーバーを有効にする」のオプションが利用できない場合は、弊社ウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてください。

ログイン

Telnet経由でeco PDUにログインするには、次の手順を実行してください。

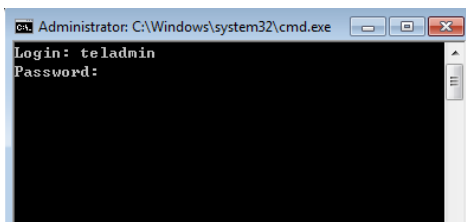
1. コンピューターでスタートメニューを開き、「ファイル名を指定して実行」を選択し、「開く」フィールドに「cmd」と入力して「OK」をクリックします。



2. コマンドプロンプトで、telnetとPDUのIPアドレスを次のように入力します。

```
telnet [IPアドレス]
```

3. [Enter]を押します。そうすると、ログイン画面が表示されます。



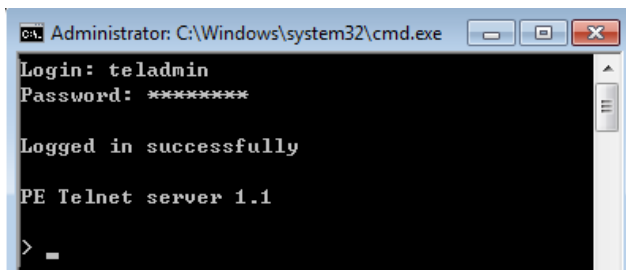
4. ログインプロンプトで、次の情報を入力します。

- ユーザー名: **teladmin**
- パスワード: **telpwd**

注意:

Telnetのユーザー名とパスワードは、eco PDUのウェブGUIのユーザータブで設定できます。

5. Telnetセッションが確立すると、「Logged in successfully」(ログイン成功)というメッセージとコマンドラインプロンプトが表示されます。



```
Administrator: C:\Windows\system32\cmd.exe
Login: teladmin
Password: *****
Logged in successfully
PE Telnet server 1.1
> _
```

セッションタイムアウト

データ入力がない状態が60秒間継続すると、Telnet接続が終了します。

コマンド

各セクションで説明されているように、Telnet コマンドを使用して、eco PDU を表示・設定します。テキストベースのコマンドラインは、eco PDU のウェブGUI の「エネルギー」タブにある機能と同じ機能の一部を提供します。eco PDU を表示・設定するコマンドは、次のセクションに記載されています。各コマンドで実現できる機能の情報については、ユーザーマニュアルに記載されている情報を参照してください。

確認

誤ったコマンドを送信すると、コマンドラインの最後に確認メッセージが表示されます。

- **Invalid command or exceed max command length (無効なコマンドまたは最大文字数を超過しています):** コマンドの形式や値が間違っています。正しい形式や値を使用して、コマンド文字列をもう一度入力してみてください。

電源アウトレットの状態の読み取り

電源アウトレットの状態の読み取りコマンドを使用すると、eco PDUのアウトレットの電源状態を確認できます。

電源アウトレットの状態の読み取りコマンドの構文は次のとおりです。

コマンド + アウトレット + 番号 + オプション + [Enter]

- 例えば、アウトレット01の状態を読み取ってシンプルな戻り文字列で出力する場合は、次のように入力します。

```
read status o01 simple [Enter]
```

- 例えば、アウトレット12の状態を読み取ってフォーマット形式の戻り文字列で出力する場合は、次のように入力します。

```
read status o12 format [Enter]
```

次の表に、電源アウトレットの状態の読み取りコマンドに指定できる値を示します。

コマンド	説明
read status	状態の読み取りコマンド

アウトレット	説明
o	アウトレットコマンド
xx	PDUアウトレット番号 xx: PDU上のアウトレット (01-04) 例: o02

オプション	説明
simple	選択した電源アウトレットの状態をシンプルな文字列で返します。
format	選択した電源アウトレットの状態をフォーマット形式の文字列で返します。

次の表に、使用可能な電源アウトレットの状態の読み取りコマンドを示します。

コマンド	アウトレット	オプション	Enter	説明
read status	oXX	simple	[Enter]	アウトレットXXの状態を読み取って、シンプルな戻り文字列で出力します。 XX: アウトレット番号 (01-04)
read status	oXX	format	[Enter]	アウトレットXXの状態を読み取って、フォーマット形式の戻り文字列で出力します。 XX: アウトレット番号 (01-04)

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ることができます。
 2. オプションのコマンド文字列は省略可能です。デフォルトでは「format」が使用されます。
-

アウトレットの状態の切り替え

アウトレットの状態の切り替えコマンドを使用すると、eco PDUのアウトレットの電源状態を変更できます。

アウトレットの状態の切り替えコマンドの構文は次のとおりです。

コマンド + アウトレット + 番号 + オプション + 制御 + [Enter]

1. 例えば、アウトレット04の電源をすぐに切る場合は、次のように入力します。
sw o04 imme off [Enter]
2. 例えば、アウトレット01の電源を、このアウトレットに対して設定された時間遅延でONにする場合は、次のように入力します。

sw o01 delay on [Enter]

3. 例えば、アウトレット03を再起動する場合は、次のように入力します。

sw o03 reboot [Enter]

次の表に、アウトレットの状態の切り替えコマンドに指定できる値を示します。

コマンド	説明
sw	アウトレットの状態の切り替えコマンド

アウトレット	説明
o	アウトレットコマンド
xx	PDUアウトレット番号 xx:PDU上のアウトレット (01-04) 例:o02

オプション	説明
imme	アウトレットの状態を即座に切り替えます。
delay	あらかじめ設定された遅延時間でアウトレットの状態を切り替えます。

制御	説明
on	アウトレットをオンにします
off	アウトレットをオフにします
reboot	アウトレットをオフにしてからオンにします

次の表に、使用可能なアウトレットの状態切替コマンドを示します。

コマンド	アウトレット	オプション	制御	Enter	説明
sw	oXX	imme delay	on	[Enter]	「imme」または「delay」のオプションでアウトレットXXをオンにします。 XX: アウトレット番号 (01-04)
sw	oXX	imme delay	off	[Enter]	「imme」または「delay」のオプションでアウトレットXXをオフにします。 XX: アウトレット番号 (01-04)
sw	oXX		reboot	[Enter]	アウトレットXXをオフにしてオンにします。 XX: アウトレット番号 (01-04)

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ることができます。
2. オプションのコマンド文字列は省略可能です。デフォルトでは「**delay**」が使用されます。

環境値の読み取り

環境値の読み取りコマンドを使用すると、eco PDUの環境センサーからの測定値を確認できます。

環境値の読み取りコマンドの構文は次のとおりです。

コマンド + アウトレット + 番号 + オプション + [Enter]

1. 例えば、シンプルな戻り文字列で環境センサー02を読み取る場合は、次のように入力します。

```
read sensor o02 simple [Enter]
```

2. 例えば、環境センサー01をフォーマット形式の戻り文字列で読み取る場合は、次のように入力します。

```
read sensor o01 format [Enter]
```

次の表は、使用可能な環境値の読み出しコマンドを示しています。

コマンド	説明
read sensor	環境センサー値の読み取りコマンド。

アウトレット	説明
o	環境センサーが取り付けられているアウトレットコマンド
xx	環境センサーを取り付けたPDUアウトレット番号 xx: PDU上のアウトレット (01-04) 例: o02

オプション	説明
simple	選択した電源アウトレットに取り付けられた環境センサーの値をシンプルな文字列で返します。
format	選択した電源アウトレットに取り付けられた環境センサーの値をフォーマット形式の文字列で返します。

次の表に、使用可能な環境値の読み取りコマンドを示します。

コマンド	センサー	オプション	Enter	説明
read sensor	oXX	simple format	[Enter]	環境センサーが取り付けられている選択した電源 アウトレットの環境センサー値を読み取ります。 アウトレットはXXで、オプションは「simple」または 「format」で指定します。 XX: アウトレット番号 (01-04)。

注意:

1. 各コマンド文字列はスペースで区切ることができます。
2. オプションのコマンド文字列は省略可能です。デフォルトでは「format」が使用されます。

Telnetセッションの終了

Telnetセッションの終了コマンドを使用すると、eco PDUからのTelnetセッションを切断できます。

Telnetセッションの終了コマンドの構文は次のとおりです。

コマンド + [Enter]

1. 例えば、telnetセッションを切断する場合は、次のように入力します。

quit [Enter]

次の表に、Telnetセッションの終了コマンドの値を示します。

コマンド	説明
quit	Telnetセッションの終了コマンド

次の表に、Telnetセッションの終了コマンドを示します。

コマンド	Enter	説明
quit	[Enter]	三相 30アウトレット 0U PDU PG95/PG96/PG98シリーズとの Telnetセッションを切断します。

PDUデバイスの再起動

PDUデバイスの再起動コマンドを使用すると、eco PDUを再起動できます。PDUデバイスの再起動コマンドの構文は次のとおりです。

コマンド + [Enter]

1. 例えば、eco PDUを再起動する場合は、次のように入力します。

reboot [Enter]

次の表は、使用可能な環境値の読み出しコマンドを示しています。

コマンド	説明
reboot	PDUデバイスの再起動コマンド

次の表に、使用可能なPDUデバイスの再起動コマンドを示します。

コマンド	Enter	説明
reboot	[Enter]	eco PDUを再起動します。

安全にお使いいただくために

全般

- 本製品は屋内でのみお使いいただけます。
- 製品に同梱されるドキュメントはすべてお読みください。またドキュメント類はすべて保存してください。
- また、弊社ウェブサイトに掲載されているオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブルなど)を避けるようにしてください。製品本体が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- 製品が水に濡れるおそれのある場所で使用しないでください。
- 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定運用や過熱防止のために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに本体が過熱するおそれがあります。
- 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- お手入れの際には、あらかじめ製品のプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- お使いの装置への損傷を避けるために、すべての装置を適切に接地するよう

にしてください。

- 製品付属の電源ケーブルは安全のために3ピンタイプのプラグを使用しています。これは安全性を考慮した仕様です。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせして適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- デバイスはコンセントの近くに設置し、切断装置(電源接続器)にすぐに手が届くようにしてください。
- 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ホットプラグ対応電源装置に電源を接続または切断する場合は、次のガイドラインに従ってください。
 - 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
 - パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
 - システムで複数のパワーサプライを使用している場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いて、システムから切り離してください。
- キャビネットの空きスロットに物を押し込まないようにしてください。危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがあります。
- 製品本体をご自身で修理しないでください。修理はすべて、資格を持つサービス担当者に依頼してください。
- 下記の現象が発生した場合、コンセントから外して技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。

- 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水に濡れた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる(修理が必要です)。
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールの不適切な調整は、修理するために資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。
 - 「Sensor」と書かれたRJ-11コネクタを電話線口に接続しないでください。
 - 注意: 単相200V電源などからの変換アダプターを使用して、PGシリーズPDUと強制的に接続しないでください。修理する前に、必ず製品本体を電源コンセントから外すようにしてください。
 - 製品を初めてセットアップしたり使用したりする際には、各種ドキュメントを確認してからご利用ください。
 - 本製品は立ち入り制限区域内でのみ使用することを目的としています。
 - 本製品は感電事故防止のために保護接地導体と接続してください。保護接地は安全装置として使用されます。
 - 保護接地導体の電流値はIEC規定が ES2 制限を超えることがあります。アース線に対しても触れないようにしてください。

ラックマウント

- ラックの作業を始める前に、スタビライザー（転倒防止脚）がラックにしっかり取り付けられており、床まで確実に伸ばされ、ラック全体の重量が床にかかっていることを確認してください。単体のラックで作業を行う場合は、前面および側面のスタビライザーを取り付けてください。複数のラックを連結して使用している場合は、前面スタビライザーを取り付けたうえで作業を行ってください。
- ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- デバイスレールのリリース用ラッチを押しながらデバイスをスライドさせてラックに出し入れする際にはスライドレールに指を挟まないようにご注意ください。
- デバイスがラックに挿入されたら、レールをロックする位置まで慎重にスライドしてください。
- ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の80%を越えないように設定する必要があります。
- ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、全て正しく接地されていることを確認してください。
- ラックへの通気を十分に確保してください。
- 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ラックに設置したデバイスの動作中に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

eco PDUの主電源コード

このパッケージに付属する電源コードを使用してください。同梱の電源コードを交換する必要がある場合は、必ず付属の電源コードと同じ規格の電源コードを使用してください。



電源ケーブルの固定

eco PDUの電源アウトレットにケーブルを固定するには、eco PDU専用に設計されたATEN Lock-Your-Plugケーブルホルダーのみを使用してください。その他のケーブル固定用デバイスを使用することは非常に危険です。ATENケーブル抜け防止ホルダーについては、ATEN販売店にお問い合わせください。

サーキットブレーカーのリセット

eco PDUの回路ブレーカーがトリップして電源が遮断された場合、リセットを行う前に、すべての接続機器の電源をオフにし、eco PDUの電源アウトレットから取り外してください。これは、突然の電源回復による過電流や機器損傷を防ぐためです。過電流などによりeco PDUの回路ブレーカーが動作し、電源が遮断された場合には、下記の手順に従ってリセットを行ってください。

復旧手順:

1. eco PDU の電源コンセントに接続されているすべてのデバイスの電源を安全な方法でオフにして取り外します。
2. eco PDUに電力を供給している電源のサーキットブレーカーをオフにしてください。
3. eco PDUのサーキットブレーカーをオンにしてください。
4. eco PDUに電力を供給している電源のサーキットブレーカーをオンにしてください。
5. デバイスをeco PDUの電源アウトレットに再接続し、電源を入れてください。

技術サポート

インターナショナル

- トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含むオンラインテクニカルサポートの場合：<http://eservice.aten.com>
- お電話によるお問い合わせについては、p.iii「電話サポート」を参照してください。

北米

Eメールサポート		support@aten-usa.com
オンライン テクニカルサポート	トラブルシューティング ドキュメント ソフトウェアアップデート	http://www.aten-usa.com/support
電話サポート		1-888-999-ATEN ext 4988

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- 製品型番、シリアル番号、購入日。
- OS、リビジョン・レベル、拡張カード、およびソフトウェアを含むコンピューター構成。
- エラー発生時に表示されるエラーメッセージ。
- エラーに至るまでの操作の順序。
- 他にも役立つと思われる情報。

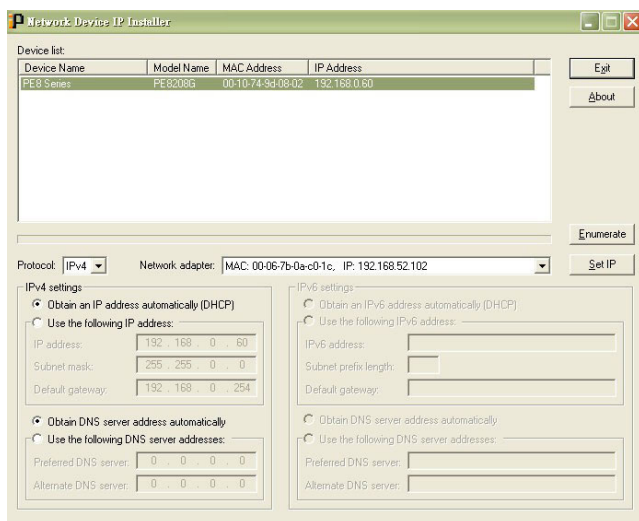
IPアドレスの設定

管理者として初めてログインする場合、ユーザーが接続できるようにするために、まずeco PDUにIPアドレスを設定する必要があります。この操作を行う方法は、2通りあります。いずれの場合も、クライアントPCはeco PDUと同じネットワークセグメント上にある必要があります。接続してログインが完了したら、eco PDUに固定IPアドレスを割り当てることができます。(p.48「デバイス管理」を参照してください)。

方法1

Windowsを実行しているコンピューターの場合、IPアドレスの決定や割り当てを、IPインストーラー経由で行うことができます。ユーティリティーは、当社のウェブサイトのダウンロードエリアから入手できます。「ダウンロード」ページの「ドライバー&ソフトウェア」のリストから、お使いの機器の型番を選択してください。インストーラーを使いコンピューターにダウンロードしたら、以下の手順に従ってアドレスを設定してください。

1. ダウンロードしたファイル「IPInstaller.zip」をお使いのコンピューター上の適当なフォルダーに解凍してください。
2. 手順1でIPインストーラーを解凍したフォルダーに移動します。そうすると、以下のようなダイアログボックスが表示されます。



3. デバイス一覧からデバイスを選択してください。

注意:

1. 一覧に何も表示されない、また、対象となる製品が表示されない場合は、「**一覧表示**」をクリックして、「**デバイス一覧**」を更新してください。
 2. リストに複数のデバイスがある場合は、MACアドレスを使用して目的のデバイスを選択します。eco PDUのMACアドレスは、製品本体底面に貼られているラベルに記載されています。
-
4. DHCPを使ってIPアドレスを自動的に取得する場合は「IPアドレスを自動取得する」を、固定IPアドレスを設定する場合は「IPアドレスを指定する」をそれぞれ選択してください。後者を選択した場合は、製品がセットアップされているネットワークで有効なIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをそれぞれ該当欄に入力してください。
 5. 「**IPの設定**」ボタンをクリックしてください。
 6. デバイスリストにIPアドレスが表示されたら、「**終了**」をクリックしてプログラムを終了してください。

方法2

1. お使いのコンピューターのIPアドレスを「192.168.0.XXX」に設定してください。
XXXは60以外の任意の数字を表します(192.168.0.60はeco PDUのデフォルトアドレスです)。
2. ブラウザでデバイスのデフォルトIPアドレス(192.168.0.60)を指定してアクセスしてください。
3. デバイスに固定IPアドレスを割り当ててください(p.73「IPv4設定」参照)。
4. ログアウトしたら、手順1で設定を変更したコンピューターのIPアドレスを元の値に戻しておいてください。
5. ログインしたら、ネットワーク設定に移動して、永続的なIP環境を設定してください(p.73「IPv4設定」参照)。

方法3

ATEN eco DCを使用すると、PDUデバイスを設定し、接続された機器の電源状態を監視するためにIPアドレスを決定したり、割り当てたりすることができます。

ATEN eco DCは、ATENのウェブサイトのダウンロードエリアから入手できます。

仕様

PG8308B / PG8308G

機能	PG8308B	PG8308G
電気仕様		
定格入力電圧	100-240 VAC	
最大入力電流	30A(最大) 24A(ULディレーティング)	32A(最大)
入力周波数	50-60 Hz	
入力接続	NEMA L6-30P	IEC 60309 32A
入力電力	7200VA(最大) 5760VA (ULディレーティング)	7680VA(最大)
アウトレットタイプ	IEC320 C13×6 IEC320 C19×2	
定格出力電圧	100-240 VAC	
最大出力電流 (アウトレット)	C13: 15A(最大)、12A(ULディレーティング) C19: 20A(最大)、16A(UL)	C13: 10A(最大) C19: 16A(最大)
ブレーカー	UL489 × 2	
計測	アウトレットごとの電流、電圧、力率およびkWhの監視	
アウトレット切替	あり	
環境センサーポート	RJ-45 × 1	
計測精度	1%	
本体		
サイズ(W×D×H)	43.24 × 21.00 × 4.40 cm	
重量	4.65 kg	
電源コード長	3m (SR + NEMA L6-30P)	3m (SR + IEC60309 32A)
動作環境		
温度(動作/保管)	0~60°C / -20~60°C	
湿度(動作・保管)	0~80% RH、結露なきこと	
規格準拠		
EMC検証	FCC	CE
安全性検証	UL, PSE	CE, UKCA

ATEN保証ポリシー

保証方針は、製品カテゴリーおよび購入地域によって異なる場合があります。詳細については、ATEN の公式ウェブサイトアクセスし、購入した国/地域を選択してからサポートセンターに移動するか、最寄りのATEN 営業所にお問い合わせください。

Copyright © 2025 ATEN® International Co., Ltd.

リリース日: 2025-01-23

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltd.の登録商標です。無断転載禁じます。
その他全てのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。